



# 朝陽

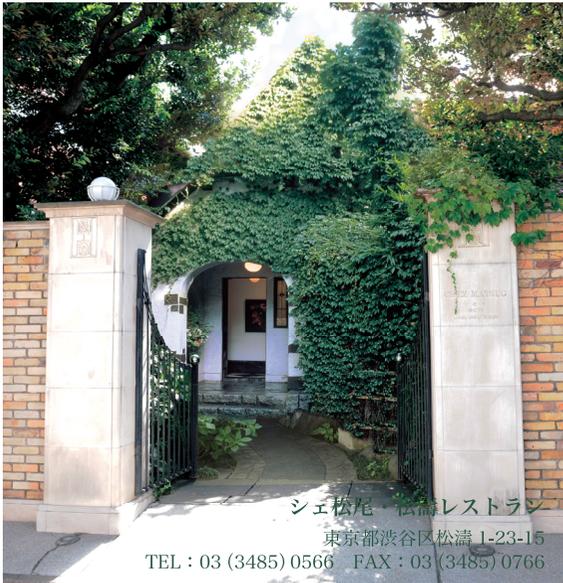


*No.63*  
2014 May

東京都立新宿高等学校(旧府立第六中学校)朝陽同窓会

# CHEZ MATSUO

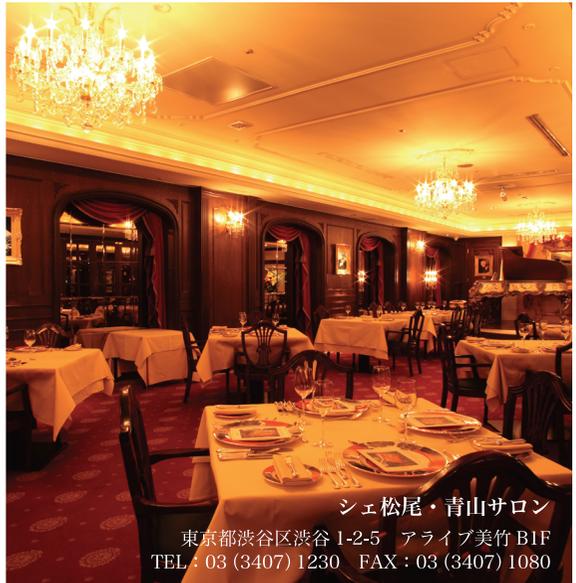
シェ松尾のお食事・ご宴会・ご婚礼



シェ松尾・松尾レストラン

東京都渋谷区松濤 1-23-15

TEL : 03 (3485) 0566 FAX : 03 (3485) 0766



シェ松尾・青山サロン

東京都渋谷区渋谷 1-2-5 アライブ美竹 B1F

TEL : 03 (3407) 1230 FAX : 03 (3407) 1080



シェ松尾・天王洲倶楽部

東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲 27F

TEL : 03 (5783) 2411 FAX : 03 (5783) 2412



グランファミーユ・シェ松尾

東京都世田谷区成城 6-5-34 成城コルティ 4F

TEL : 03 (5429) 1131 FAX : 03 (5429) 1132

お問い合わせ

株式会社 ボンサンテ

TEL : 03 (6868) 6759 FAX : 03 (6868) 6021

E-MAIL : umezawa@bonnesante.co.jp

代表取締役 梅澤 博 (23 回卒)

朝陽六三号 目次

会長ご挨拶	15	青柳正規	2
周年記念特集記事			
卒業三十周年	三六回生	3	
卒業四十周年	二六回生	9	
卒業五十周年	一六回生	15	
卒業六十周年	六回生	21	
会員随筆			
新宿高校と音楽	19	松本 徹	24
今もこれからも『顔が見える支援を』	16	佐藤愛子	25
晩節を汚す	18	鏡 明	26
同期会便り			
飛竜会	中9	古川晴康	28
中一四回	中14	倉持幸一	28
六一八回	中18	松浦 慎	29
六新会	2	穴水恒雄	29
喜寿の会	7	古田・森田	30
いちご会	15	西出紀久	31
楡の木会	20	宇賀神博	31
新二五回	25	渡辺康隆	32
新三五回	35	伊藤裕之	32
支部だより			
朝陽USA	34	横田康子	34
北海道支部	31	江本 匡	34
宮城支部	38	小田島 肇	35
多摩朝陽会	33	大内 哲	36
東海朝陽会	15	古川秀昭	37
関西支部	44	西島健太郎	37
九州朝陽会	28	小林 牧	38
OB・OG部活動			
朝陽剣友会	23	亀尾一弥	40
新宿フィルOB合奏団	37	吉原威文	40
ラグビー部	25	青柳恵一	41
朝陽バレーボールクラブ	21	西尾博	41
放送研究部	15	本多 武	42
六声会	2	塩入 明	43
東京校歌祭	18	林慶治郎	43
戸山交流戦報告	事務局		44
追悼文・訃報・亡き恩師を偲んで			
志賀先生の思い出	4	三堀 健	47
追悼 石島克彦先生	25	渡辺康隆	47
有賀健治先生を偲んで	34	小野瑞城	48
恩師島田先生への感謝	30	光畑欽央	49
訃報記事	事務局		49
母校便り			
学校長所感	戸田弘美	校長	50
母校便り	樋口博文	副校長	50
部活動紹介	写真部(熊谷圭二郎)		
ソフトテニス部(五関紀子)			54
離任恩師ご挨拶	木村知博		55
恩師の会			
教員版「新宿高校同窓会」幹事一同			56
事務局便り			
総会記念講演	15	馬場悠男	57
今年の館山寮を振り返って	23	下島正幹	58
同窓会活動計画	7	吉村 悟	59
予算・決算報告	7	吉村 悟	59
館山寮と水上寮の現在と今後	(財)	朝陽会	62
寄贈図書一覧	事務局		63
六二号での脱落記事全文再掲			
「パツとしない高校生をつぶやく」	35	森谷真由美	64

篠原法律会計事務所

弁護士 篠原由宏 (15回)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目16番2号 岩尾ビル3階

Tel : 03-3502-2086 FAX : 03-3502-2069

会長ご挨拶

「朝陽同窓会に新たな文化の息吹を」

同窓会長 青柳 正規



昨年、早くも一年が経とうとしております。高校時代は山岳部で山登りに明け暮れ、昼休みや放課後は級友と野球に興じるなど、想い出一杯の母校同窓会長就任に深い感慨を覚えたのは昨日の事のようにです。

会長就任時には思いもかけなかった文化庁長官を拝命し、現在は日本の文化行政を司る公務に追われる毎日です。私は研究者としての海外生活、海外研究者との長い交流を通じて、我が国にありがちな「独りよがり日本文化特殊論」からの脱皮の必要性を痛感していました。日本文化の特質を相対化した上で、日本人にも海外の人にも良さを知ってもらおう、それが文化庁長官の重要な役割の一つであり、また新たな職務から得る経験が同窓会にも役立つ、との思いも同時に抱いて長官に就任いたしました。しかし現実には厳しく、同窓会に足を運ぶこともままなりません、ホームページや

同期生から得られる同窓会・母校の近況を耳にするたび、会長就任時に感じた熱い思いが甦ってまいります。

母校百周年に向けたプロジェクトの始動、名門復活への母校の力強い歩み、若い方々の参加による同窓会活動の活性化、学校・PTAのご協力を得ての同窓会加入率改善等、喜ばしい話を聞くたびに関係者の皆様の努力に頭が下がる一方、会長として貢献の出来ないもどかしさも感じてきました。

こうして一年が経ち、文化庁長官と同窓会長の両立は困難と判つたいま、会長を続けることは同窓会に更にご迷惑をおかけすると考え、本年度の総会で辞任させていただくことになりました。

後任は同期の垂水尚志さん（15回）に託しました。垂水さんはJRグループ技術陣の総本山（公財）鉄道総合技術研究所の理事長を昨年六月まで務め、現在は顧問として後進の指導に当たっておられます。一流の職務経歴はもちろん、人格・識見にも優れた垂水さんは、朝陽同窓会にも新たな文化の息吹をもたらしてくれる、まさに最適任の方であると確信しております。

新会長を迎え、朝陽同窓会が母校と手を携えて更なる発展の道を歩まれることを心から期待申し上げます。私のお別れとお詫びの言葉とさせていただきます。（文化庁長官）

平成 26 年度総会議事＜役員改選＞

役員候補者

会 長	新任	垂水 尚志 (15回)	退任	青柳 正規 (15回)
副会長	新任	橋本 健一 (19回)	退任	小泉 公生 (10回)
	新任	宮崎 直道 (24回)		(平成 26 年 3 月 21 日逝去)

以下の方々は任期中につき改選はありません。

名誉会長	久米 豊 (中 13回)	村上 光一 (10回)	顧問	橋本 恵堅 (9回)
副 会 長	菊池 光興 (14回)	龍岡 友子 (24回)	濱名 正二 (24回)	
	宮坂 雅子 (27回)			
幹 事 長	吉村 悟 (7回)			
監 事	山本 展也 (27回)	島崎 主税 (28回)		

三十年、我々は、そして社会は何が変わり、何が変わらなかつたのか。

個を語ることによつて全を詳らかにし、全を詳らかにすることによつて個を現す。我々はどこから来たのか、我々は何者なのか。我々はどこへ行くのか。この謎を解き明かすべく、さあ、語れ、同胞よ！

(代表幹事 G組 貝谷 浩二)

## なぜか仙台

A組 加藤 賢一

高校では剣道部で青春するぞ！と燃えていた部活動も、自分の中の火が消えてしまふ宙ぶらりんな気持ちで過ごしていた、そんな高二の一学期。菊地君と喜多川君の三人で、夏休みに自転車で仙台へ行く計画を立てた。

初日の天気予報は台風直撃。朝は降っていなかったもので、五時に集合場所の伊勢丹前へ行ってみた。「台風が追いかけてくるみたいだよ」でも「明日また早起きするのは辛い」と強行出発。国道六号で仙台を目指す。東京を出る頃には予報通り大雨。全身ずぶ濡れで、トラックに抜かれるたび顔中泥だらけになりながら日立に到着。その

頃には台風も追い抜いて行ったようで雨もあがり、手頃な無人駅が初日の宿。明日は台風一過で良い天気との夢を見つつ、寝袋に入つてお休み。

二日目は朝から快晴。早朝の町を抜けると、アップダウンが始まった。左右に畑の広がる坂を下っていると、後ろで「グシャ」という音。振り返ると、いるはずの菊地君がいない。ただそこには軽トラが停まっているだけ。戻ってみると、軽トラの後ろで菊地君がひっくり返っている。地図を見ていたら追突したとのこと。人間と軽トラは無事のようにだが、自転車のフレームが曲がつてしまった。でも真つ直ぐなら走れると、気合いで仙台行きを続行。

山あり谷ありの国道を北上し、夕方には原ノ町駅に到着。でも夜は待合室を閉めてしまふとのこと。しかたなく国道を外れ、

常磐線沿いに寢床を探しながら北上することにした。星がきれいな真つ暗な山道を、後ろから聞こえる不気味なチェンのきしむ音にドキドキしながら夜の十時過ぎまで走り、「次の駅で絶対寝よう」と決めて辿り着いた駅は相馬。駅舎の明かりが消え、ホームのベンチに寝袋を広げたが「朝見つかったら、きつと怒られる」と考え直し、駅前広場の軒先に寝袋を並べるや、すぐに夢の中だった。

何やら騒がしいなあと目を覚ますと、子供が走り回っている。駅前広場はラジオ体操会場だったのだ。三日目はなんともこつぱずかしい気持ちで始まったが、昨晩頑張ったので仙台は目前。案内表示板の仙台が近付くにつれて意気も上がり、昼過ぎには無事到着。

仙台では喜多川君の親戚宅にご厄介となり、七夕祭りも見られ、杜の都を堪能。ハプニング満載の珍道中だったが、仙台の大学に進学するきっかけにもなり、私の人生のひとつの転機となる旅になった。高校時代は中途半端な思い出ばかりだが、少しだけ自信が持てた高二の夏だった。



## 次の三十年へのエール

C組 大貫 竜哉

高校卒業から三十年が経つ。

この三十年での一番大きな変化とは聞かれたら、やはり通信手段の発達ではないかまさか個人でカード大の電話を持ち歩くことになるとは、当時誰が想像し得たであろうか。スマホを我が物顔で使いこなす子供たちを見て、当時の様々な苦勞をしみじみと思い出す。

電話をかけるといえば相手の家の黒電話が当たり前であった。ごはん時は避け、夜十時以降はタブーであり、風呂に入っているかも、家族の方が出たら等々、相当気を遣う作業であった。しかしこのおかげで社会に出た後に電話の応対で苦勞した記憶がない。

サラリーマン川柳で電話の仕事を相手に「何様ですか？」と聞く新人という作品を目にしたが、携帯電話しか知らない世代では笑えない話のようである。

我々の使命は次の三十年の歴史を築く礎を子供の世代に残すことだと思っている。

先に記した携帯電話は、もはやそれ自体が存在せずに、「スマホ」といえば病院で脳の中にマイクチップが埋め込まれ、網

膜が液晶画面の代わりとなり、手で操作することが無くなるだろう。

そして医療技術も格段の進歩をし、三十年後に八十歳の我々は新発見の細胞のおかげで、また十五歳の身体に戻ってしまう。そんな同窓会も夢ではないかもしれないと、冗談半分であっても考えるとまた楽しいではないか。

しかしどんなに技術が進歩したとしても、黒電話を知る我々は、その先にいる相手に対する気遣いの気持ちに代表される「昭和のモラルとマナー」を伝える責任は忘れたくない。

そういう口やかましい親父でいたいと思う。

今回、寄稿の機会をいただいたことに感謝しつつ、同級生の皆が次の三十年後の八十歳を笑顔で迎えることを願いながら、今日もまた仕事に向かう現役親父であった。

## 高校時代と現在の私—青春万歳!

D組 倉田 英樹

或る日、クラス幹事からメールが届き、高校卒業三十周年の原稿の依頼を受けました。高校時代の思い出には、館山の臨海学

園、谷川岳登山、尾瀬ヶ原トレッキング、管弦楽部におけるクラブ活動等々、思い出せば出すほど次々に出てきますが、やはり私の人生の方向性を決める重大な決断を高校時代にしていたことを書き記したいと思っています。

現在の私は、小動物臨床獣医師をしています。大学の獣医学科を卒業後、勤務医を経て開業し、現在ではスタッフ十名を抱える動物病院の院長として、身を粉にして働いています。

この現在の私があるのは高校時代に大学の獣医学科を志望したからに他なりません。もしもあの時他の学科を志望していたり、希望通りに獣医学科に合格していなければ、現在の小動物臨床獣医師としての私は存在していません。大学の獣医学科を卒業することが、獣医師国家試験を受験するための必須条件であるため、大学の獣医学科に合格することが獣医師になるための絶対条件となっています。あの当時はバイオテクノロジーの黎明期であり、生物学全般に興味があった私は、獣医学科の他にも農芸化学科や生物学科、薬学科や医学部なども考えていましたが、あらゆる生物学を統合したかのような獣医学に最も興味があり、また犬猫などの小動物を診療する獣医師という職業にも強い興味があったために獣医学科

を志望したのでした。高校二年の頃には既に獣医学科の受験を真剣に考えていましたが、十代半ばの若輩者であった自分の判断が、現在の小動物臨床獣医師を生業としている自分の状況の根幹を決定していたと思うと、非常に感慨深いものがあります。

あの当時の自分が大学の志望先決定に臨むに当たり、三十年後の自分の人生を決する決断をしているという自覚は無かったかも知れませんが、不安を抱えながらも獣医師に対する憧れや夢を抱いて志望先を決定したことは、はっきりと覚えています。青春万歳！です。

### 映画『ホビット』翻訳監修者の感慨

E組 伊藤 盡

西暦二〇一四年はオクスフォード大学教授だったJ・R・R・トールキンの生誕百二十二年目にあたる。

トールキン教授が四十五歳の時に出版した小説『ホビットの冒険』（瀬田貞二訳、岩波書店）が実写映画となって、今年二月に第二部『ホビット 竜に奪われた王国』が日本で公開される。出版から七十七年目という節目の年だ。

「金魚鉢」と呼ばれた司書室の付属物の趣漂う、薄暗き新宿高校図書館の隅で、朱布が貼られた旧版『指輪物語』（評論社刊）を座り読みし、流行り始めたロール・プレイング（RPG）のボードゲームを理系の友人たちと興じていた高校時代には、まさか僕が映画『ホビット』の翻訳監修者の一人に将来なるとは想像もしなかった。

大学のゼミで、『指輪物語』や『ホビットの冒険』の原作者トールキンの創作した神話世界と創作言語を卒論題目に選んだ僕は、大学院でトールキン自身の専門である中世英語・北欧語文献学の道に進んだ。アイスランドに留学して後は、北欧神話研究者、英語史教員の肩書きを持つ身である。けれど出発点となったトールキン研究は、新宿高校図書館で胚胎し、今でも仕事としてこのように続けられている。

高校時代は短く、籠球部を続けられなかったなどの苦い思い出はあるが、それも含めて、今日まで続く自分を形づくった高密度の分秒の集積だ。「何かに役に立つ」ことを求めるなんてもったいない。友人との邂逅や衝突、自分の興味を追い求めるのが精一杯。何が「役に立つ」のかなど、人の限られた視野でわかるものではない。

新宿高校で出遭ったトールキンは、世界中で多くのファンを持つばかりでない。現

在世界中を席卷するコンピュータ・ゲームRPGの世界は、彼の作品世界がモデルとされて生まれたものだ。二十世紀末に英国の書店が行った「世紀の作家は誰か」というアンケートでトールキンが一位に選ばれた事実を、「大学の英文学研究者」は受け入れられなかった、という逸話もある。彼の代表作『指輪物語』は、英文学者たちにとって「文学」と認めるには余りにもオリジナルであり、「一般人」に受け入れられ過ぎたのである。

高校時代の英語の授業は退屈すぎて勉強に身が入らず、その不勉強は英文科に進んだあと後悔することになるが、新宿高校の友人が直接輸入した米国製RPGを英語で読みながら放課後にうち興じた方が英語の勉強になったなどと言ったら、高校の恩師たちに叱られるだろうか？ ただ、あの頃の新宿高校に息づいていたそんな自由な学風が、今の僕を作ってくれていることは疑いない。



E組 佐藤 栄彦

入学したのが一九八一年、学校群制度最後の年でした。一年G組の担任は辻先生、部活は「軽音」。入学祝いのグレコのエレキギターで練習に励み、打ち合わせと称してウエンディーズに入り浸り、「ちゃん屋」の斜め前の「音楽館」というスタジオで練習、小遣いがなくなれば親に内緒でバイトという日々でした。私はその頃流行っていた「Tofo」とか高中正義などを主に演奏していましたが、当時の軽音には多くのバンドがあり、一年後輩でその後芥川賞作家となった西平秋子さん（ペンネームは絲山秋子）はパンクバンドでベースとボーカルをやっていました。プロを目指す仲間もいて、自分もどうしようかとも思いましたが、とりあえず時間稼ぎということで一浪の後、慶應の商学部に引っかかりました。しかし高校時代遊んでばかりいたせいか大学生活は目新しく感じられず、学校にはあまり行かずにバンドとバイトに明け暮れる日々でした。軽音で一年先輩だった宮谷暢宏さんに誘われて入ったバンドに、今や雅楽奏者（というか芸能人？）として有名な東儀秀樹さんがいて、当時宮内庁勤めの傍ら趣味

で作った曲と一緒にライブハウスで演奏したりしていました。またそれとは別にやっていたバンドに岡本正義（今でも多方面で活躍中）というのがいたり、そんな才気溢れる人達を身近にみて普通に就職することにし、面白そうな会社を探していたところはバブル、Hondaに拾われました。

入社して鈴鹿工場に配属後、青山本社、一九九九年イギリス、二〇〇一年ドイツと異動しました。二〇〇五年に青山本社に戻り国際税務という業務に携わった後、二〇一一年にアメリカ・アラバマ州の工場に赴任し三年が経ちました。偶然ですが、五年先輩の中嶋英彦さんが役員としてすぐ近くに座っておられます。こちらでは久々に日米混成バンドを組み、地元のイベントなどに出たりしています。

もうすぐ五十に手が届くという年代になりましたが、思えば良くも悪くも高校時代の、あの新宿の猥雑な感じ、個性的な友人達、「史上最底のバカ学年」と言いながらも温かく見守ってくれた先生方、が今の自分を作ったのかなと思います。でも新宿高校に入って一番得した事と言えば、イギリス駐在の直前に紹介された女性が坂本龍一さんの大ファンで、同じ高校というだけかなり誇大評価し、結婚してくれた事でしょう。その妻とフランクフルト生まれ

の十一歳になる一人娘と、まだしばらく世界を漂っていくことになりそうです。

## 底泥の夢ぞ覚めにし二輪車は 井の頭公園弁天之池

F組 荒木 ゆうみ

なんの脈絡もなく一シーンだけ、当時の記憶を抜き出す。

担任の窪谷徹先生に「おまえら思想がないからなあ。」と言われ、めまいがしたことを鮮烈に覚えている。わたしは平成元年に社会人となり、バブル破綻やリーマン・ショックなどの荒波と人生の蹉跌？を踏みまくって大人になった。放送局、出版社、番組制作会社と渡り歩き、食べていくには国だって企業だって文化活動だって『経済発展』が切り離せないと納得する一方で、「思想がないからなあ。」は「流されているのか」と聞こえる声でもあった。

このほど卒業三十年の節目に、高校時代の記憶を掘り起こす貴重な機会を、Kさん（G組卒）にいただいた。Kさんはずっとフリーターを貫き、同窓会総幹事をされているとのこと。「稼がない男です」と、かつてと驚くほど変わらぬ容姿と、端正で芯

の通ったその言動のはしばしに感銘をうける。そして、さらなる驚きが待っていた。Kさんに紹介されたのは、フリーライターとして活躍するUさん（H組卒）が昨秋に出版した著書で、タイトルのズバリ、「稼がない男」（二〇一三年・同文館出版刊）。出版後、数ヶ月を経てなお現在もじわじわと新聞等の書評欄に登場、ロングテールの呼び声高い一冊である。社会に出たわたしたち世代の足跡を確かな筆致で活写、誤解を恐れず言えば「流されない」生き方をめぐる人びとの笑いと涙と感動の記録だ。主人公は、四七歳でフリーターのヨシオと、十七年交際しているマキエのカップル。爽やかでやわらかな読後、見事です！Uさん興奮さめやらず本書をおすすめするついでに、おそろおそろ三六回生の印象を有元秀文先生に取材する。：受験生の夏休みをなげうって学園祭でミュージカル「Hai」を上演、強すぎる個性を認めない先生と生徒たちとの対決もあったし、センター試験での最低点記録を樹立、最低最悪の学年と呼ばれていた…。有元先生にとって「おまえらサイコーだった」そうである。



## 「昼休み野球」から 「クリスマス野球」へ

G組 入澤 武久

在学中の私の成績は低空飛行。ろくに勉強しなかったもので、勉強に関する思い出はほとんどない。現在は、三代目として辯護士をやっている。法曹会でも現最高裁判所判事をはじめ、六中健児が多数活躍していることを誇らしく思う。

さて、タイトルの「昼休み野球」とは、硬式テニスボールとノック・バットを使い、昼休み時間中に、クラスや部を超越したメンバーで行われていた野球によく似たスポーツのことである。何故か三年生のときに、一部の男子学生の間で熱狂的に燃えさかった。どれほど燃えていたかというところ、A野君が純白のチノパンでスライディングするくらい燃えていた。受験を間近に控えた学年であるにも拘わらず、三学期になっても熱狂が醒めない我々の噂を聞いた当時のPTA会長（硬式野球部N川君の父上）は、「こんな時期に野球なんかしている連中は、浪人だ！」と予言した。この予言が的中し、私は一年浪人した。因みに、今も主力選手として活躍しているK藤君は二年浪人した。

この「昼休み野球」はその火を絶やすことなく、卒業後三十余年を経た今も、「クリスマス野球」という名称のもと、毎年十二月二三日、神宮外苑で行われている。いまや酸いも甘いも噛みしめた中年になった面々は、試合後は銭湯で汗と泥を流し、その後、居酒屋に移動して酒を酌み交わすのである。宴席では、甘酸っぱい回想が悶々と語られている（衝撃の告白や新事実も多々ある！）。

今日までの間に、メンバーは入れ替わったが、新メンバーの参加もあり（女性も！）、先細ってはいいない。エージングによる知的肉体的、精神的劣化と戦いつつ、高校三年から続く現在進行形の青春として、足腰が立たなくなるまで続けていきたいと思う。新規に参加を希望する三六回生は、irisawa-law@lily.ocn.ne.jp にご連絡を！呑み会だけでも楽しめますぞ！

## 今でも苦手な英語

H組 小島 道一

高校時代、一番の苦手科目が英語だった。十段階評価で四前後だったように記憶している。予習も復習もまともにしていなかった。

た。高校の正門をですぐの明治通りの交差点で、外国人に英語で道を聞かれて、うまく答えられなかったこともあった。

今は、何の因果か、英語をかなり使った仕事をしている。ここ十年、海外出張は、毎年六十日から九十日。海外の企業や政府機関から話を聞く際に、英語は欠かせない。国際会議や国際協力機構（JICA）での外国人向け研修では、英語で発表や講義をしている。英語の論文や新聞、ウェブサイトなど、英語を読む機会も少なくない。海外の研究者とのメールでのやり取りもある。昨年は、同僚や研究仲間と一緒に、英語で本も出版した（Michikazu Kojima and Etsuyo Michida (ed.) International Trade in Recyclable and Hazardous Waste in Asia, Edward Elgar, 2013）。

しかし、英語はいぜん、苦手である。二年前、ある国際会議で発表をしたところ、議長をしていたイギリスの先生が、休憩時間にやってきて、「パワーポイントの内容面白かった。しかし、しゃべっている内容はよくわからなかった」と言われたことがある。話す内容の準備が不十分だったこともあるが、おそらく、発音が問題だったのだろう。

普段は、東南アジアの人たちと話をする機会が多い。お互いネイティブではなく、

文法的に誤りがあっても、発音が悪くても話ができている。しかし、ネイティブからすると、「よくわからん」ということなんでしょう。ネイティブと話して英語が通じなかつたり、ネイティブ・チェックに出した原稿が真っ赤になって戻ってきたりするたびに、高校時代、もっと英語をまじめにやっていたらと思う。

三六回生同窓会を二〇一五年（平成二七年）に企画中です。幹事から連絡ありましたらご協力を！

平成 26 年「第 20 回 0 の会作品展」のご案内

0 の会も 20 周年を迎え、下記の要領で開催します。

多数のご来場をお待ちしております。

会期： 11 月 3 日（月）～11 月 9 日（日）

時間： 午前 11：00～午後 6：30

（但し、最終日は午後 3：00 まで）

場所： ギャラリーくぼた（4F）

中央区京橋 2-7-11

電話： 03-3563-0005

（11 回 神田 隆一）

南欧料理、パリの居酒屋風レストラン

ぐるり シャトー

“新宿高校” と言えば特別サービス

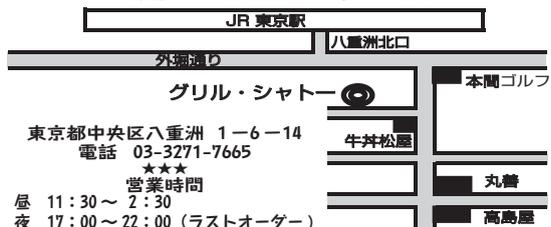
どっちの料理ショー、行列のできる店その他テレビで何度もオンエア

日曜・祝日の貸し切り大歓迎。  
（場所代無し）是非ご相談下さい。  
土曜日も昼夜とも通常通り営業  
しております。

15 回生の池上がやっています。

— 昨年創業 50 周年  
を迎えました。

東京駅八重洲北口から歩いて2分



東京都中央区八重洲 1-6-14  
電話 03-3271-7665  
\*\*\*  
営業時間  
昼 11:30 ~ 2:30  
夜 17:00 ~ 22:00 (ラストオーダー)

## 卒業四十周年「赤いちゃんちゃんこ」は似合いません！

26回

昭和四九年三月卒業の二六回生。最近の同窓会での会話は、「親の介護」、「年金」、「子供の将来」、「孫の誕生」、「健康」。もうすぐ還暦を迎える中年ですが、仕事に遊びに大いに忙しいオジさん・オバさんです！

二六回生の四十周年記念パーティーは、来る十月二十五日（土）午後二時より、ホテルフロラシオン青山で開催します。同期生の皆さん、奮ってご参加ください。

二六回幹事一同

### ニクソン&オイル・シヨックの頃

A組 石田 貴文

一年の夏休み、鶴城教頭（「三皇・五帝」）毎回暗唱の御厚意で編入受験を許され、九月から須田先生と佐藤先生のB組にお世話に（なので、「塩見」を語ることが出来ない）。「合唱コン入賞！」が記憶に。

二年になると小島先生と島田先生のA組に。漠然と「研究者」を自分の将来像に描き、「獨創性」を磨くため①毎日小説を一冊読むこと、②自分と対話して他人と話さないことにした。今更ですが、隣の席の人、御免なさい。学園祭は「お化け屋敷」。手製の高電圧発生装置を仕掛けるも、下見に来た島田先生がえらく感電し、撤去。

三年になると受験のプレッシャーが。考

査後の面談で、小島先生の名言（？）「永いスランプは実力」がトラウマに。今、学生相手の職なので、この名言を時々拝借（ウケは悪い）。秋に職員室で、昼食中の佐藤先生から進路を尋ねられ、「文学部」と発するや、先生は咳き込まれた。これが所謂「噴飯物」かと、理系を選択（佐藤先生の文転は寡聞にして存じ上げなかった）。

卒業後、紆余曲折あり、「人類学」を専攻し現在に至っている。大学院時に教育実習生として、現役の辻先生・太郎先生の後任の橋本先生（19）の「生物科」にお世話に（同級のT画伯も美術科実習生だった）。辻先生から「生物教師になるなら、卒業に合わせて退職してあげるから、新宿に来い」と有難いお言葉を頂戴したが、品行面で教師に自信が持てず大学に残った。

仕事柄、外地に赴き外人と接する機会も

多い。歴史に暗い華人には鶴城先生の「三皇・五帝」を、もちろん王朝名に加え「正しい歴史」を武井先生の世界史ノート形式で講釈。なんと、このノート形式は、進化学・系統学の講義にバッチリ転用。また、少数民族の記載は、北地先生の課題「地誌」に倣う……と、新宿高校の遺産で食い潰してきた四十年である。磨いたはずの「獨創性」は何処に？

六中・新宿が教えてくれたのは「自由、でも自己責任」ではないか。卒業生に凝り性な人・面白い人が多いのも、その伝統のお陰か。現在の職場には、延べ六名の卒業生が在職した。同期のN氏を始め、皆ユニークである。振り返るに、時には度を過ぎた自由を満喫したと反省。既に鬼籍に入られた諸先生には後日必ず、過去の不敬をお詫びに参上したいと思ひ巡らす「アラ還、早期高齢者」である。 ※研究内容は「石田貴文リガクル02」で検索可。

### 南溟の地にて

B組 小澤 萬記

今年中学三年になる息子の質問。「とうちゃんは僕くらいの時何になりたかった

の?」僕の答え「革命家」、息子「それって、テロリストみたいなもの」、僕「まあ、似たようなものだ」、息子「……」。親父の答えは、息子の「キャリア教育」には役に立たなかったようである。

プロ野球選手を目指す少年のほとんどが結果的に違う職業につくように、革命家を目指していた少年も別の職業に就くことになった(「革命家」が職業だとすればの話だが)。学校というところがあまり好きではなかったのに、なぜか大学の教員になってしまった。

途中経過は省略するが、一九九二年から四国の高知大学の教員をやっている。採用の際に面接担当の教授から聞かれたのは唯一「あなたは酒が飲めますか」ということだった。こんなことからわかるように、赴任した当時はかなりのんびりした大学だった。

ところが、僕が教員になったところから、大学教員が退屈しないように、役人たちが次々といろいろな「宿題」を出してくるようになり、急速に忙しくなった。大きなところだけでも僕が赴任する前後には全国の大学で教養部の解体があり、二〇〇四年には法人化、現在進行中なのが「ミッションの再定義」なるものである。そんなこんなでそれなりに忙しくしてい

た二〇〇七年にある「事件」が起こった。

学長選挙の際、投票結果の確定後に職員が勝手に「投票用紙を点検」し、現職学長の名前が書かれた票をあらたに「発見」するという事件である。(その結果学長は「再選」された)。こんなバカげたことを認めるわけにはいかないので、学長任命の無効を求める裁判を四年半やった。昨年最高裁で我々の申し立ては却下され裁判は負けたが、この間多くの新宿高校同窓生の方から有形無形の支援をいただいた、この場を借りて感謝したい。この裁判が終わったと思ったら、今度は「不払い賃金請求訴訟」の原告の一人にならないかと誘われ第二ラウンドのつもりで引き受けた。こちらも最高裁まで行くだろうから、定年まで裁判を抱えることになりそうである。

そのように見てくると、「革命家」になりたかった少年の人生も、かつての野球少年が年を取ってソフトボールの監督になるのと同じ程度には首尾一貫していると言えるのかもしれない。あくまで「結果オーライ」というやつだが。



## わが師・松崎吉昭先生との出会い

C組 竹田 幸夫

新宿高校に入学して間もなく体操部に入部した私は、顧問の松崎吉昭先生の指導を受けたことになった。今振り返ってみれば、高校三年間、そして卒業してから今日に至るまでの四十年間、松崎先生の鋭い眼と温かい眼差しで見守られ続けてきた気がする。なぜ体操部に入ったかを思い返してみると、幼い頃にテレビで観た東京オリンピックの影響があったと思う。新入生として部活動の見学で体育館に足を運び入れた途端、体操部の先輩たちの演技が真っ先に目に飛び込んできて、すぐに入部を決意した。しかし、実際にやってみると思うように体は動かない。バク転をやれば、曲がってしまふ。そんな場面である時は厳しく、またある時は諭すような口調で技の指導をしていたのだが、松崎先生であった。なかなかうまくできない技でも、工夫して練習を重ねれば身につけることができる、そんな体操競技の魅力を先生から教わって、大学も体操の道に進むことを決意した。

大学生になってしばらく経ったある時、松崎先生から電話が入った。そのときに言われたのは、「オリンピック選手を目指し

逸材が次々に育ってきている。

## 流れているもの

D組 鬼木（岡本） 裕子

「今日何時に起きましたか」

「トマトです」

「お父さんの仕事は何ですか」

「チンタオです」

私の職場は日本語学校、これはクラス分け面接の一コマです。こんなトンチンカンなやり取りから新学期が始まり、二年後には皆、大学や専門学校に進学して行きます。外国人に教える日本語の文法はとてもしンプル。動詞は全て三つのグループに分けられ、形容詞の種類も二つだけ。上一段、下二段に苦しむこともありません。

日本語学校の毎日は実に賑やかです。まだ通じ合えなくても仲良くお弁当を食べているインドと台湾の学生。手品が得意な韓国クンの周りにはベトナム女子達が集まって歓声を上げています。これぞまさに異文化交流、新鮮な発見や驚きの連続です。

ある日、音大志望の中国の王クンが、チェンバロの本を片手に質問にきました。バロックを勉強したくて、通奏低音につい

て知りたいとか。バロック、チェンバロ、通奏低音と言えば……これはもう野村先生です！早速お手紙を差し上げ、先生率いる室内オケのコンサートへ伺いました。久しぶりにお目にかかる先生はニコニコと駆け寄って来て下さり、私は途端に高校生に戻ったのでした。山小屋風ホルの木のぬくもりに弦の響きが調和して、とても素敵な演奏会でした。先生は王クンの質問にも丁寧に答えて下さり、その後も彼はご自宅に伺ったり、練習に混ざって頂いたりして、今は音大生活を謳歌しています。

毎年三月に一回り成長した彼らを送り出すのは感慨深いのですが、数年後、就職や結婚の報告に来てくれた時は更に嬉しいものです。すっかり日本語も流暢になり、この日本で堅実に生きている姿は眩しくもあります。十年前の卒業生が言いました。当時アルバイトとの両立が大変で授業中爆睡していた彼女、私が起こさず寝かしておいて、帰る時そっと「大丈夫？」と聞いてくれたのが嬉しかったと。そんなことは忘れていましたが、私にとつての教師像は、きつと新宿高校の人間味溢れる先生方なのだと思ってきました。目先の小事にとらわれず、生徒に対等に接し、暖かく長い目で導く、それは国籍や価値観の異なる留学生に対してでも相通じます。夕闇迫る校舎に流れ

てみる！」である。当時の自分の実力からすれば考えも及ばなかった大きな目標を告げられて面喰っている、さらに「幸夫は不器用だから、それを武器にしろ！」と付け加えられた。なかなかうまくならなかった弟子にしびれを切らして喝を入れるための一言だったのだろう。その後もずっと体操競技と対峙し、そして今でも関わり続けることができているのは、この時の叱咤激励があったからだ。現在では、駒澤大学で学生選手を指導する場にも恵まれ、さらに日本体操協会の役員も経験させていただいた。良い思い出となっているのは、日本のエースとして活躍している内村航平選手が、オリンピックデビューとなった北京オリンピックで日本の役員として応援できたことである。これからは、六年後の東京オリンピックで日本の体操選手が大活躍するという夢をみつっ、それが実現するための支援をしていきたい。

改めて高校卒業から四十年の歳月を振り返ってみると、自分の人生を決定づけたわが師との出会いに感謝をしたい。今でも、ときどき松崎先生や当時の体操仲間と集って体操談義をする機会がある。その時は、四十年間のタイムスリップを楽しんでいる。

昨年、二〇二〇年東京オリンピックの開催が決定した。幸い今の日本体操界には、

るあのシバの女王のメロディと共に、私の中に脈々と流れているものがあると感じています。

## ピアノと共に半世紀

E組 橋野(平林)千恵子

私がピアノを始めたのは六歳のころですから、もう半世紀以上も弾き続けていることとなります。こんなに長く続けることになるとは夢にも思っていないんですけど、そのきっかけは、二九歳でベルカント奏法に出会ったことにあります。音大を卒業し、ウィーンに短期留学した私は、初めてペーゼンドルフアーというピアノに触れ、思うように弾けず、ほうほうの態で逃げるように帰国した苦い思い出を持っています。ペーゼンドルフアーは、一九世紀にウィーンで作られたピアノで、フランツ・リストの激しい演奏に耐え抜いたというハードなものです。私が弾くと、まるで指が砂に埋まっていくようで、全く音が出ないのです。この経験から、ベルカント奏法で、もう一度、一からピアノを勉強しなおしてみようと思ったのです。

ベルカントとはイタリアの伝統的歌唱法

で、それをピアノにも応用して、体の深いところで支えて音を出す奏法です。習い始めたころは、先生の説明の意味が全く理解できず、チンプンカンプン。あまりの出来の悪さに先生が激怒して、物が飛んでくることもしばしばでした。しかし、数年後、サントリーホールでのペーゼンドルフアーをガンガン鳴らして、ウィーンでの雪辱を果たすことができたときは、うれしくて涙が出ました。ピアノは、猫が鍵盤の上を歩いても音は出ますし、楽譜通りに弾くだけでなく、魂を揺さぶられるような深い音が出るようになるのは大変なことです。私もまだまだ道半ばですが、私にしか出せない音があると信じて、もう少し頑張ってみようと思っています。

ありがたいことに、演奏会にはいつも新宿高校の仲間が来てくれます。三年間担任だった関正春先生も欠かさずご来場くださり、演奏会の後は決まって先生を囲んでミニクラス会になりました。その関先生が平成二一年に亡くなられて、残念でなりません。次回の演奏会は、関先生からダメ出しされたベートーベンに再挑戦するつもりです。



## Hがくれた倫敦『A to Z』

F組 松本 卓

ハムステッドヒースの屋外音楽祭『ケンウッドプロムズ』の余韻がまだ残る二〇〇七年初秋、Hから「倫敦映画祭で近々そっちに行くから逢おうぜ」というメールを受け取った。

遡ること半年前、倫敦に赴任する小生の送別会をOが開催してくれた。場所はZが営む三茶のカフェ。高校仲間に囲まれて赴任前の一時を楽しく過ごさせて頂いた。会も半ばドタバタと駆け付けてくれたH、言いたいことを一人まくし立てて「これから花見だからじゃあーな」と春風と共に去っていった。その時「これを持って行けよ」といつてポケット版の『A to Z』を餞別としてくれた。

商社に入社して二十八年、海外駐在は専らアジア。倫敦はアフリカ出張の帰途に数度訪れただけ。どことなく重苦しい雰囲気のある街に果して馴染めるのだろうかと少々不安だった。

倫敦を良く知っているというH。「凄くいい街だから楽しんで来いよ。いざれ訪ねて行くからさ。」と激励してくれた。嬉しいかつた反面、非凡な彼の感覚がどこまで

参考になるのか正直疑問にも思った。

二〇〇七年四月倫敦着任、街を徘徊する間もなく欧州域内は元よりロシア・中東のあちこちを飛び回り、あつという間に半年が経ってしまっていた。そんな或る日に受け取ったのがHからのメールだった。

待合せのレスタースクウェアにHは真っ赤なパンツ姿で現れた。東京で赤いパンツを穿いているのはサンタクロース位だが倫敦では何の違和感もない。H馴染みのソーホーの中華料理店までの道すがら、映画関係者が集うパブや地図専門店の『スタンプフォード』、ナショナルレポートレートギヤラリー等々、H色の倫敦を駆足で案内して貰った。「明日から弁護士と一緒にマルタにSPCを設立しに行ってくるよ」と言ってケンジントンの常宿に消えていく彼をブラックキャブから見送ってHとのほんの数時間の倫敦ツアーは幕を閉じた。

あれから二年半、Hがくれた『A to Z』を片手に倫敦の街を徘徊し今ではバンコクと共に何れ住みたい街の一つになった。今度は自分色の倫敦をHに案内したいものだ。Hがくれた『A to Z』は今でも本棚に鎮座している。随分とボロボロになってしまったけれども。因みに『A to Z』は細い路地 (News) まづ全て事細かに表示されている倫敦地図だ。

## ジョッキングのすすめ

G組 野崎 和夫

今年で、走り始めて二十六年になる。高校、大学時代と陸上部ではあったが、短距離、跳躍が専門で、長距離は本当に遅かったし、嫌いだっただ。

そんな自分が、なぜ今でも走り続けているのか不思議である。故障も何度かしたりしたが、治れば又走り出すという繰り返しでここまで来た。

初めてフルマラソンを走ったのは、走り始めて一年半位の平成元年十一月の河口湖マラソンだった。フルマラソンを完走するには、直前の三か月で、月二百キロ以上を走る事が必要だと本に書いてあったので、夏頃から完走のために走りこんだ。レースは苦しかったが、何とか歩かずに三時間四十分でゴールできた。相当な疲労感だったが、それにも増して、ゴール後の達成感や充実感、他のスポーツでは味わえないものだった。それから二十五年間、百キロマラソン(一回だけ)やフルマラソン、三十キロ、ハーフマラソン等、四十回位の大会に出場した。

ここ二、三年はレースから遠のいてしまっているが、四月のかすみがうらマラソ

ンに久々にエントリーしているの、この冬も平日は、早朝五時半過ぎから六〜七キロ、土日には、二十〜三十キロ程度の走り込みを行っている。

数年前は、月四百キロ位走っていた時期もあったが、今の自分には、このくらいが体力的にもやる気を保つためにも適当な練習量だと思っている。

ところで、先程も書いたが、自分は瞬発系の筋肉(速筋)を持っていては、人間には、持久系の筋肉(遅筋)を持っている人と二種類いるらしい。

しかし、自分のように速筋を持つ人間でも、齢を重ね持久系の運動を続けていると、多少筋肉の質が変わってくるらしい。高校時代、自分のように長距離が苦手だった人も、少し走ってみようかなと思った人がいたら、ぜひ走ることを勧めたい。

但し、今まで何もしていなかった人が、急に走り出したら、必ず脚を痛めたりしてしまうし、心臓にも良くない。まずは、ウォーキングや水泳、自転車等軽めの有酸素運動で心肺機能を鍛え、体重を落とすことから徐々にジョッキングに移る事が大切である。とにかく、ジョッキングは、安上がりだし、気持ちがいいし、最高のダイエットになること請け合いです。

## 同窓会の有難み

江組 山田 和雄

たしか十年くらい前から、クラス会が開かれるようになりました。参加するたびに懐かしさと驚きの感慨をもち、家路に帰ってきました。他の卒業生も書いていましたが、中学の同窓会は幼すぎるし大学だと専門とか専攻があり難しいが、高校だと一番面白いし自分の青年期の始まりとダブって興味深いものがあります。また新宿という交通の便利なロケーションにある学校なので一段と盛り上がるのかもしれませんが。閑静な新宿御苑の緑、春の桜の美しさと西口の高層ビル、そして駅の人の多さと歌舞伎町の歓楽街の近さは他の高校にないものだと思います。

さて私の恩師である佐藤喜一先生は、ご自身が戦前の六中出身で、長く新宿で国語の教師をされていました。引退後は作家として何冊も本をおだしになられ、私も読ませていただきました。交通と文学というテーマで詩人や文学者の鉄道旅行を綿密に追及して論証してゆくものです。これはとてもおもしろいテーマであり、新宿というターミナルステーションの近くにある高校の教師という恵まれた環境が幸いしている

と思います。登場する明治や大正時代の文学者、中原中也、石川啄木などへの深い理解がその鉄道旅行への関心を呼び起こします。これは現代でも同じであり自動車やバスそして飛行機での移動が作家や普通の人たちにも、詩や文学を発生させることがありえるので、応用の効くテーマなのです。もっと大きくいえば移動と文学ともいえません。昔の農民と違って今は皆、移動しつつ生活せざるをえません。そこでの変化、獲得するもの失うもの、そこに歌が発生する根拠が存在しています。佐藤先生だけでなく新宿高校の先生方に感謝したいと思いません。

私は実は新宿の二つ駅となりの原宿で『昭和軒』という中華料理店を家族で経営しております。私が幼少のときは竹下通りも夜は暗い道でしたがだんだんと賑やかになりまたテレビやラジオで騒がれ有名な商店街になりました。ここは新宿とまた違う歌があります。わたしたちの店でも二回ほどクラス会を開いてくれました。満席で二十人くらいですから小さい店ですが、今後ともよろしく願っています。



### 事務局より会費納入のお願い

#### ☆会費の種類

- ① 年会費… 2,000円
- ② 長期会費… 10,000円（6年間有効）

①、②のいずれかをお選びいただけます。毎年の納入が煩わしい方には長期会費をお勧めいたします。いずれも本誌に同封の振込用紙をご利用下さい。

#### ☆会費納入免除

- ・卒業時に入会された会員は入会金を納めていますので、卒業後5年間は納入免除です。今年は62～66回生の方々が該当いたします。
- ・現・旧職員[名誉会員]と80歳以上[寿

会員]は納入免除です。今年の寿会員は中1～新5回生の方々です。

#### ☆期間

- ・会計年度は4月～翌年3月で、会費は納入した年度から起算いたします。
- ・重複して納入があった場合には、有効期間が重ならないよう連続期間として扱います。
- ・寿会員から会費納入された場合は、寄付扱いとさせていただきます。

#### ☆寄付金

- ・昨年も寿会員はじめ、多くの方々からのご寄付を頂きました。今後ともよろしく願っています。

（事務局長 15 西出 紀久）

昭和二十年生れがほとんどの我々一六回生は前後の世代に比べて一番人口が少なかった。

前後の世代と同じく我々も終戦直後の食糧不足に耐え、長じては成長経済の恩恵を受けて徴兵の心配もなく育ち、おそらく世界の歴史上最も恵まれた世代であったといえる。

我々は昭和三六年に入学し同三九年に卒業した。時代背景としては昭和三七年に堀江謙一氏のヨットで太平洋横断、キューバ危機があり、「無責任時代」のこともば流行了った。三八年にはケネディ大統領暗殺、三九年には東海道新幹線開通、そして東京オリンピックが開催された。私も母校のすぐ傍の甲州街道でアベベ・ビキラ、円谷幸吉の力走を見ることができた。正に漠然と日本の繁栄を我事として実感できたのかもしれない。流行歌の世界ではこの三年間に「上を向いて歩こう」「王将」「銀座の恋の物語」「スーダラ節」等々の大ヒットがあったが、なんといっても昭和三八年、即ち我々が本校三年のときに大流行した舟木一夫氏の「高校三年生」は我々に鋭いインパクトを与えた。

我々三年H組ではこの歌をクラス歌としてホームルームの時間に全員で歌った。学園祭で講堂のステージから出席者全員にこの歌を歌うことを強要したこともあった。

この歌は「赤い夕陽が校舎を染めて」と何故か夕方から始まる。我々のこよなく愛した第三グラウンド（御苑）の薄暗い風景と重ね合わせる時何ともロマンチックな導入部である。「僕等フオークダンスの手をとれば甘く匂うよ黒髪が」の「くだり」で人知れず泣けてしまうのは私だけではあるまい（最も実際には我々日本男子としては簡単に女子生徒の「手をとる」こともできず何となく心なしかうつむいている女子生徒の黒髪が匂っていたような気がしたただけであったが）。

昔は「人生五十年」と言われた。信長も漱石も五十歳の生涯だった。我々は更に一八年長生きしている。若者達は明日を夢見て一所懸命生きているとのことだが我々は「残り少ない日数」を完成させるため一所懸命なふりをして毎日を過ごしている。しかし確かなことは『クラス仲間はいつまでも』ということであろう。我々一六回生は四百名の中の生き残りに通知を出して同期

会を行ってきた。今年は九回目を迎え、百名の仲間が新橋第一ホテルに集まる。秋には卒業五十周年の二次会として同期高知尾朝行君の経営する奥湯河原「青巒荘」に六十名が集まる予定である。「新宿高校に入学して良かった」「新宿高校の卒業生で良かった」という変らぬ思いを抱きつつ余生を送っていきたいと思っている。

（代表幹事 木村 眞一）

### 五七五七七で綴る高校時代の思い出

A組 杉本 滋

新宿の高校出てから五十年

あつという間の夢の後先

思い出をつづれとの依頼引き受けて

ほけては友の名もおぼろなり

名前違いあらば許せと前置きに

頭叩いて綴る思い出

さてもさて辻先生の授業なり

いと騒がしき後ろの席に

黒髪は振り乱せずにとなり声

「今騒いでいるのは誰だあ」と

「波田君です」間髪入れず明回答

どっと噴き出す二下なりけり

俊敏な答えの主は西岡君

辻先生もほっと息つく  
あの頃の流行りは高校三年生

離れ離れの友も懐かし  
さてもさて運動場の壁の穴

誰が開けたか時効成立  
あの穴を通って御苑へ行かないで

学校からの訓示しばしば  
冬散歩さてあの穴は今いかに

暇に任せて御苑探索  
落羽松気根の手前十メートル

それらしき穴のあるを発見  
この穴を抜けて一度は御苑へと

行きたかったと後悔しきり  
さてもさて学校出てから五十年

今の私はフォトハイカー  
雪月花流行不易侘び寂びと

写真俳句はすでに三千  
子規曰く千句で俳句の入門者

ついに私も中級者かも  
見てらっしゃい僕の細道ドットコム

俳句サイトのURL  
ツイッターフェイスブックにグーグルと

ブログに投稿楽勝の日々  
初暦めくるめく世を馬なりで

稲森如風(自称俳号) 了

## 三年B組クラス会

B組 高坂(草薙) 麻子

三年B組のクラス会、それは一九九四年  
十月一九日武藤清さんの声掛けで、文京区  
本郷の「兎」に有志が集まったのがきっかけ  
でした。

ちょうど五十歳を目前にした我々は、い  
ろいろな事が一段落した年代になってきて  
いました。大部分の方は会社人生等で、が  
むしやらに働いていた時代から少しほっと  
一息入れられるようになってきた頃です。  
私自身について言えば、大学卒業以来コン  
ピューターの業務ソフト開発をずっとやっ  
てきて少し自信を持って進めていけるよう  
になってきて、それまで一にも仕事二にも  
仕事だった生活から外にも少し目を向けら  
れる心境になってきた頃だと思います。  
十数名が、本当に久し振りに顔を会わせ  
てワイワイ楽しく過ごすことが出来ました。  
会社でのいろいろ煩わしい事から切り離さ  
れ何も気兼ねせず好きなことをしゃべり  
合えて、趣味の事や考えている事、それま  
での仕事仲間との会話とは別次元での会話  
を楽しむ事が出来ました。皆がたぶんこの  
ような集まりにほっとした感じを持ったの  
だと思います。そして、これがきっかけと

なって時々クラス会を開催していくこと  
になりました。

二〇〇〇年五月二七日のクラス会は米山  
国武さんの経営している画廊「アトリエジ  
ム」で、お寿司を取ったりお惣菜を買って  
きたりして、現代の若手作家の作品を見な  
がら手作りクラス会を行いました。二〇〇  
六年十月一九日の麻布十番「さぬき倶楽  
部」でのクラス会までは辻先生も出席して  
くださいました。歳を重ねてくると先生と  
の距離感が少し変わりいろいろ雑談ができ  
るようになっていました。

我々も六十代後半になってきて仕事を卒  
業した人も大勢いると思いますが、身体の  
あちこちにガタが出てくる年代にもなっ  
てきました。一緒に幹事をしていた山田(宗  
像)誠子さんも亡くなり訃報を聞くことも  
増えてきました。また六十代です。政治  
家で言えばまだまだ引退の年齢ではありま  
せん。私もまだ毎日満員電車通勤してい  
ます。いつまで続けられるかわかりませ  
んが、もうこの仕事四五年以上取り敢えず頑  
張っています。昨年は遅い夏休みを九月に  
取ってロンドンへオペラ、コンサート等を  
聞きに行くことが出来ました。皆様も健康  
維持に気を付けて、またクラス会でお目  
にかかりましょう。

## 歌舞伎「助六」への出演

C組 麦田 浩一郎

趣味の話である。所詮自慢話になってしまいが、ご勘弁願うこととする。

プロとアマチュアは、実力、経験、知識に大きな差があり、プロの中にアマチュアが混ざって商業公演に出演することは稀であろう。歌舞伎十八番の人気演目である「助六由縁江戸桜」が上演されるときに限り、我々素人が同公演に参加し、助六が花道において所作をする際に演奏される河東節の助六の唄の部分を担当する。昨年六月の新歌舞座の柿茸落（コケラオトシ）公演においても、我々素人のいわゆる旦那衆の集団である河東節十寸見（マスマ）会の御連中が交代で一人が三日ほど出演し、約二百名で一か月の公演を務め上げた。

どうして素人が商業公演に参加できるのかと言えば、河東節が特殊な邦楽であり、これを専門とするプロが少ないため、江戸時代から素人の旦那衆が助六公演に参加することが慣例となり、現在もこの慣例が踏襲されているからである。

河東節が演奏されるのは、成田屋宗家（團十郎一家）が助六を演ずるときのみであり、他の家が助六を演ずる場合は河東節

を使うことを遠慮し、長唄、清元、常磐津等他の邦楽で演奏される。

助六は、いわゆる御蟲貞に支えられ、江戸の粋な遊び心を感じさせるめずらしい演目である。

遊びというと簡単に何も努力しないで楽しめるものと思われがちであるが、河東節は、邦楽の大学院とも呼ばれるほど難しいものであって、河東節御連中も長唄や清元等の下地がある人が師匠から厳しくしごかれ、技を磨いて晴れの日を迎えることができるのであり、十二代目の團十郎は、これが本当の遊びであると喝破している。

高校卒業後五十年も経過しようとしている老年期において、真の努力を要する遊びを発見し、これに夢中になることも大事であろう。もっとも、悪友の中には、あいつはゴルフが下手なので、河東節へ転向したと批評しているようである。



## 一年を振り返って

D組 君島（福永） 和子

例えば、この一年自分は何をしてきたか振り返ってみると、多少の進歩は見られるようです。地域の図書館を利用する習慣が付き、数十冊の主として評伝を読みました。年齢に相応しく（時間が無い！）時にとばして読んだりします。

L・オリヴィエ、J・L・バロー、S・ツヴァイクの自伝は秀逸でした。DVDが遅まきながら生活に入ってきたのも最近です。ポワロ、コロンボに続きホームズが待っています。コロンボは英語の字幕があるので多様な楽しみ方が可能です。

ところで、皆さんは少人数のグループで規則的に会う会をお持ちですか。私は友人たちと組んで、この四年間で四つ作りましたが、その中三つの会のメンバーの全員又は一部が高校の同窓です。一つは一年のクラスを基盤にした「女子会」、専ら食べてしゃべる会です。二つ目は「散歩の会」、隔月で開かれ賑やかな食事とのセットです。一番新しいのが「音読の会」、毎月、現代語訳と共に『源氏』を輪読しています。『源氏』に疲れると、近代の露伴、一葉等の短編も。が何と言っても、高校以来殆ど

触れなかった『源氏』を再び、と言うのが主眼であって、ここでは他の会とは違った満足感が得られます。因みに、どの会もメンバーは満杯です。興味のある方はどうぞ参考にして下さい。カルチャー・スクール等と違って少しの苦労はあるものの、大きな楽しみを得られること、受け合いです。ここまで読んで高校時代の私を知る人は、「仲良しごっこ」は似合わない、と思うかもしれません。読書や文学が好きで昔と変わらないね、と言うかも知れません。現在は週二回二つの大学で英語を教えています。一年生のクラスですから、つまり、彼等彼女等は高校卒業直後の私達なのだ、と思うと不思議な感じがします。停年まであと二年勤めるつもりですが…

さて、できるかな？

## 卒業から五十年、大震災から三年

E組 島田(厚芝) 幸子

夫の赴任で仙台へ来たのは二八年前、その後夫は京都へ転任、息子達も大学進学で仙台を離れ、本来最もこの地に縁のなかった私が家守としてそのまま留まることとなった。

多くの方にご心配をおかけしたあの時、私は街中にいた。赤信号で車を止めてすぐ地鳴りを感じ、その直後に強い揺れに襲われた。嵐の大海原に浮かぶ小舟のごとく揺れ動く車中でハンドルにしがみつかながら、看板が落ちてくる不安に外を見ると、ビルから飛び出して来る人、道路にしゃがみ込む人、街灯にしがみつく人達が目に入ってきた。長く大きな揺れがいったん収まった時、一刻も早く街を抜け出し家に帰ろうと本能的に思った。信号が消え、余震が続く中、注意深く郊外へ車を走らせた。

幸い家は無事だったが、ライフラインは全てダウンしていた。隣近所の助け合いが大きな力を発揮し、青空の下、溶け始めた冷凍食材でバーベキューもした。その時の私達には情報がなかった。揺れの直後に携帯で夫に無事を伝えたが、その後はネットも携帯も全く通じなかった。ラジオは聞けただが実感が湧かない。沿岸部や福島で起きたことを映像で見たのは、電気が戻った四日後の夜であった。原発からの風向きが懸念されている頃、水道・ガス復旧の見通しが立たない中で寒波が襲来し、家族の希望もあり避難を決めた。六日後、動き出した夜行バスに何とか乗ることができ大雪の仙台から新潟・富山経由で京都へと移動した。帰仙は一ヶ月後となった。

私の地域の地震被害は小さかったが、放射線量の上昇という目に見えぬ恐怖は押し寄せた。知人のご子息や子供達の友人の死など多くの悲しみがあった。その後もあまりに多くの事が続いたせい、三年前の事なのにもっとずっと長い時間が過ぎたように感じる。なお長くてつらい時間を抱えておられる方々の苦しみを忘れずにいること、この時起きた事や私を感じた事をこれから先も忘れずにいることが大切だと思っている。

## 宇宙ステーション開発に携わって

F組 小泉 英夫

お久し振りです。卒業後五十周年とこのとですが、田舎から転校してきた私の高校の記憶は伝統の古い校舎と個性あふれた先生方、学友は皆優秀でとても敵わないと落ち込んだ時期もありました。科目では特に物理が楽しみでした。

大学卒業後は技術系の会社に入り、偶然の経緯でその大半を人とは変った宇宙開発に携わりました。当初は国産基幹ロケットであるH-IIの開発や有人宇宙機の開発を手がけましたが、一九八〇年代末から国際

宇宙ステーション（ISS）計画がスタートしたため私も其方に専任となりました。宇宙ゴミ防御のための江田島での貫通実験、無重量試験、耐放射線対策等の課題以外にも参加各国間の共通規格の調整、更に輸送機であるNASAシャトルの数度の事故の為に中断により計画は大幅に遅れましたが二〇〇五年に待望の日本の実験モジュールが打上げられ、以降大きな不具合も無く現在まで順調に運用しています。

ISSに参画するため日本は初めて有人宇宙の世界に足を踏み入れることになり、JAXAを中心に宇宙飛行士の養成にも力を入れて来ました。現在ISSに滞在している若田光一さんはその第二世代目に当たり、ISS開発初期から熱心に現場にも来られました。民間企業出身で技術のみならず気配りのある人格的にも優れた方でNA



SAの宇宙飛行士室長に抜擢され、滞在後半にはISS船長として各国の宇宙飛行士を纏めることが期待されています。

宇宙開発は今までは主に国の機関を中心に実施されて来ましたが、今後の費用増大を踏まえて宇宙機の開発と運用を民間企業に委託される傾向が進んでいます。これに合わせ、米国のベンチャー企業やロシアは宇宙旅行のビジネスを活性化させており、ISSに宇宙ホテルを付ける計画もあります。将来数百万円の費用で宇宙旅行が可能となれば爆発的に需要が増える可能性があります、皆様も楽しみに見守って頂きたいと思っています。

写真は右側下から二人目が筆者

左側上から二人目が若田飛行士

## バイオリン&ビオラの自作

G組 平田 教次

入学早々、中一から始めていたクラリネットが池辺晋一郎先輩（当時二年）が立ち上げたばかりの器楽愛好会（現在の管弦楽部）に入部。先輩が作曲、編曲された総譜から休み時間に図書室でパート譜を写し、学園祭で池辺さんと同じクラリネットで合

奏したのが懐かしい思い出。大学で機械工学を専攻し部活のオーケストラも活動を続けましたが、社会人となり仕事（カメラの設計）多忙とともに楽器はタンスの上に。五七歳で特許関連の機関に転向し、霞が関界隈で頻繁に行われる昼コン生演奏に刺激されて演奏活動を再開。六三歳からヴィオラも習い始め、レッスン場所が幸いにもバイオリン製作工房の片隅。工作好きだった小学生の時、「子供の科学」誌に載っていたバイオリン設計図を見た時からの夢



(自分で作りたい)が蘇り、大震災の少し前からバイオリンを作り始めました。

手作りの詳細は割愛しますが、二〇一四年四月、一年がかりで第一作のバイオリン(写真右)を完成。第二作のヴィオラ(写真左)は仕事を減らし四月で完成。どちらもとても良く響き、所属オーケストラの定期演奏会等に自作ヴィオラで出演。第三作のニス塗り前ホワイトバイオリン(写真中)は間もなく完成で三月に開催される五十周年同窓会でバイオリン歴六十年の木村眞一君の協力を得て自作二重奏でお披露目予定です。

バイオリン作りは、大した道具が必要なわけではありませんが、自分が納得できるまで集中力を持って根気よく丁寧な作業が必須です。

自分が設計したカメラもいわば自分の作品と言えますが、バイオリンは後世まで魂の響きを残してくれます。特許の仕事もしばらく継続しつつ、弦楽器製作と自作楽器の弦楽アンサンブルをこれからのテーマに思っています。

新宿高校管弦楽部も創部五十年を経てOBが千名を越す規模となり、作曲家、演奏家の方々も数多く活躍されています。世代を超えて人々を縦の線でつなぐ音楽の力、母校の力に感謝です。

## 無頼を極めた高校時代

H組 内藤 徹

私が都立新宿高校を卒業したのは、十月に東京オリンピックピックを控えた一九六四年であった。

それからもう既に五十年が経過したのであるが、五十年といえば織田信長の時代であれば人間五十年、人間の一生に当たる期間である。私の五十年前の高校時代を振り返ってみることにする。

当時の新宿高校は都内はもとより国内でも有数の進学校でほとんどの生徒が東大はじめ有名大学合格にむけ勉学に励んでいたが、私はといえば勉学とは全く別の次元の高校生活を送っていた。高校一年の時にたまたま観た映画、ヌーベルバークの旗手であったフランソワ・トリフォール監督、ジャン・ピエール・レオ主演の「大人は判ってくれない」に魅せられ、映画館と盛り場通いが始まり、それにつれ喫煙、飲酒(アルコールが体質的にさほど強くなかったためあまり深入りはしなかったが)、さらに年齢も職業もバラバラな不特定の客が集まる歌舞伎町の雀荘での賭麻雀、同じ歌舞伎町の雑踏の中で知り合った女友達とのませた交友等々、高校生の分際で俗にいう「飲

む・打つ・買う」を地で行くような遊び呆けた高校生活であった。

もしあの時放校処分でも受けていたらその後の人生は今と違いアウトローとはいかないまでもかなり無頼な人生を余儀なくされていたのではないかと思う。

しかし学校の温情で何とか卒業させて貰ったおかげで、人から数年は遅れたが人並みに大学を卒業し、人並みに就職し、今日に至るまで会社人生を送ることが出来ている。仕事が営業の関係で酒席が多いが、その席で何故か大学ではなく出身高校のことが話題になることが多い。自分の高校の良さ思い出を自慢げに熱弁を振るう愛すべき人々から、高校のことを尋ねられ、新宿高校を卒業したと言うと、あのかつての名門高校ですかと言われ、昔の行状はすっかり棚上げして、何となく誇らしい気になっているこの頃である。

最後に新宿高校の今後の発展と同窓の皆様のご健勝をお祈りいたします。



# 卒業六十周年 喧騒の巷を巣立って

## 吾等が同期会 名前はまだない。

6 回

私たち六回生が入学したのは五一年（西暦、以下同じ）で卒業が五四年です。今年「卒業六十周年になるので」「卒業六十周年記念同期会」を行います。

六回生が定期的に同期会を開催するようになったのは、九三年からで、その際に、同期会を計画し実行する「世話焼き十人組」なるグループを結成して今に至っています。女性男性各五人の世話焼きで構成。

結成以来のメンバーは私を入れて四人です。これまでの同期会の開催履歴と出席者数は次のとおり。いつも大いに盛りあがります。

- 九三「卒業四十周年プレ記念」 八五人
- 九四「卒業四十周年記念」 一五六人
- 九六「還暦記念」 一四三人
- 九九「卒業四五周年記念」 一四二人
- 〇一「二一世紀記念」 一一五人
- 〇四「卒業五十周年記念」 一一七人
- 〇六「古稀記念」 一二四人
- 〇九「卒業五五周年記念」 八四人
- 一一「喜寿記念」 八二人

会場は、九三から〇一年までが京王プラザで、〇四から〇九年までは厚生年金会館

に移りましたが、前回からまた京王プラザホテルに戻りました。

前々回に、今後の「傘寿」「米寿」「白寿」記念までの開催予定について、出席者の同意を得ています。日本人の平均寿命を考えると、いずれは女性だけの同期会になるはずなので、女性世話焼きの欠員発生には即座の補充が欠かせません。新しく就任をお願いするたびに、女性を口説き落とすことのむずかしさを痛感しています。

六回生の同期会は、先生をお呼びしないのが特徴です。以前に一度お呼びして、あまりにもお話が長いのに懲りて、今のルールに。先生ごめんなさい。

自由な校風に育てられて  
新制中学二回生の私たちは、本校をとて  
も自由な気風の高校だと感じていました。  
生徒を大人として扱う度量と自由な校風にはビックリしたものです。

進駐軍が新宿の街を闊歩していた頃です。喫煙や飲酒はご法度ですが、学校を離れば酒もタバコも好き放題でしたし、下校後

の映画に至っては全くフリー。映画の二本立て三本立てが当たり前の時代とはいえ、一年に三百本以上を観た級友もいました。入学した年に課外授業で、八クラス全員が先生方に引率されて、三回も映画鑑賞に出かけましたが、ホントに嬉しかった。

六回生と先輩たちとの意識の若干の差を示す興味深いデータがあります。

私たちが入学した年の九月にサンフランシスコ講和条約が調印されました。一〇月一三日付け「朝陽時報」が、本校全生徒から集めたアンケート結果を掲載しています。「講和条約をどのように感じ取っているか」という設問に、「良い」「だいたい良い」と答えた生徒の数は次のとおりです。

- 一年生（私たち） 五四人
- 二年生（新制中学一回生） 四九人
- 三年生（旧制中学生） 三七人
- 「独立後の自衛軍の保持」について「賛成」と答えた生徒の数は
- 一年生（私たち） 三六人
- 二年生（新制中学一回生） 三九人
- 三年生（旧制中学生） 四四人
- わずか一、二歳の差です。教育の力は大きいと思います。

修学旅行を楽しんで

六回生は、戦後初めての修学旅行を経験

した生徒です。三年生になる直前の春休みでした。往復とも夜行列車の車中泊。若かったからでしょう、少しも疲れませんでした。

私は、旧式の蛇腹を引き出す写真機を持って参加。小さいままのボジがたぐさんアルバムに貼ってあります。プロが撮った全体写真は、予算のせいかわガキ大。皆の顔はまるで豆粒です。

まだ米飯の自由販売が許されない時代ですから、私たちはコメを持参して出かけたのです。旅館に着くと、女中さんが座敷に大きなタライを持つてくる。それに生徒たちが一斉に持参のコメをぶちまけるのでした。戦時中の風習が残っていて、どの生徒もみんな新しい靴下の中にコメを入れてきました。

伊勢、奈良（泊）、宇治、京都（泊）と周って、京都駅から帰途の着いたわけです。京都駅では、夜行列車に乗るまで約二時間の「待ち」です。暗い駅前広場で三百人以上の生徒群が、何もしないで過ごせましようか。私は、駅前の土産屋で竹笛を買ってきて吹いていました。そのうちに「ピララーラ、ピララーラ」と、夜泣きソバを吹いたらまるでソックリ。みんなが買ってきてマネしたので、アツという間にチャルメラの大合奏となりました。



本校の「五十年の歩み」が、当時の「朝陽時報」に載った批判記事を引用して解説しています。

「参加者の態度は、お世辞にも良いとはいえ、帰りの汽車を待つ二時間程の間に、男生徒、女生徒共オモチャの竹笛を吹いているのはユーモラスではあったが、何とも解せない風景であった」という。しかも、夜泣きそば屋のチャルメラを真似て吹いたらしい」

旅行に参加していなければ書けない記事で、参加した新聞部員はM、TにYの三人だけですが、みんな既に鬼籍に入っています。いずれ三途の川を渡って彼らに相まみえた時には、みっちり文句を言ってみようつもりです。

（同期会世話焼き代表 山岸 哲男）

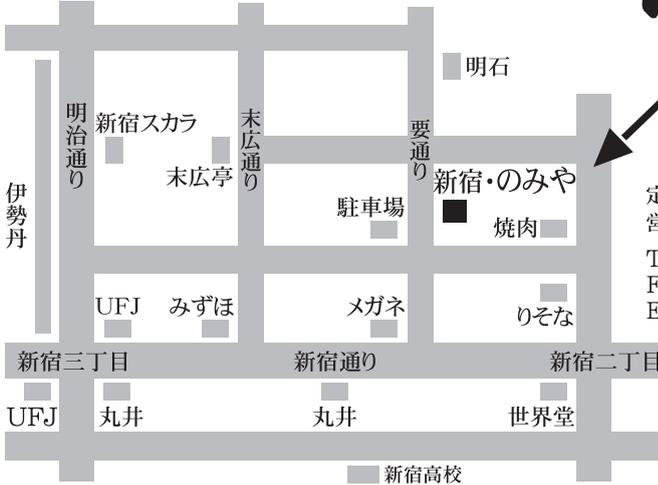


28回生、矢向と申します。  
(3年F組、水泳部)

新宿高校から一番近いOBの店を経営しております。  
カウンター10席とテーブル26席。  
ごちんまりとした居心地のいい小店です。  
お一人様で軽く一杯、またはクラス会等に  
是非ご利用ください。

<http://nomiyanooyaji.cool.ne.jp>

# 新宿・のみや



定休日 日曜・祝日  
営業時間 17時～24時

TEL 03-3353-2101

FAX 03-3353-2102

E-MAIL [shinjyukunomiya@aol.com](mailto:shinjyukunomiya@aol.com)



くつろぎ、味わい、楽しむ。

ホテルのあたたかさ  
感じてください。



## 京王フラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

TEL. (03) 3344-0111

<http://www.keioplaza.co.jp>

JR・私鉄・地下鉄「新宿駅(西口)」 「西新宿駅」より徒歩5分  
都営大江戸線「都庁前駅」B1出口すぐ

「新宿高校と音楽」

一九回 松本 徹



昨年九月十五日。台風の中、私は「新宿高校関係者受け付け」の小さな看板を持ってホールに行きました。

その日は作曲家池辺晋一郎の七十歳の誕生日、東京オペラシティの企画として「交響曲第九番」の世界初演が行われ、そこにお誘いした池辺さんと同期の方々そして池辺さんが創設した「新宿高校管弦楽部」の後輩達の当日受け付けのお手伝いをするためでした。当日管弦楽部の若い人の代表として前部長の寺村瑞紀さん、そしてそのお母さんをOB有志でご招待しました。実はお母さん寺村（今野）仁美さんも新宿高校管弦楽部卒業生（37回）下の写真参照（中央の男性は新宿フィルOB合奏団＝通称辻オケの指揮者辻美隆君（32回）です。

今からちょうど五十年前一九六四年東京オリンピックの年に私は新宿高校に入学し、管弦楽部に入部しました。その時池辺さんは東京芸大作曲科の二年生、我々後輩の為



に作曲をして、合宿も含め丁寧に指導してくださり、九月の学園祭で初演しました。その後五十年、今も時々楽器を持ってオーケストラの練習に出かけます。合奏集団「不協和音」、私が

所属しているオーケストラの名称です。私より少し下の管弦楽部OBが立ち上げ演奏会をつづけています。昨年は池辺さんの七十歳を記念して後半に池辺さんの曲を二曲演奏し、アンコールでNHK大河ドラマの主題曲「独眼流正宗」と「黄金の日」を演奏しました。

昨年五月の連休に世田谷区の松本記念音楽迎賓館で「チェンバロの日」というイベントがありました。各種のチェンバロを使った演奏会やレクチャーがあり楽しいひとときを過ごしました。この松本記念音楽迎賓館の館長は横田堯（たかし）さん、横

田さんは池辺さんと同期（15回）の先輩です。一九九三年横田さんがPTA会長の時池辺さんと呼んで「新宿校音楽の夕べ」という会があり、その時管弦楽部OBもお手伝いになりました。池辺さんのバースデーコンサートに新宿高校関係者を誘っての話も横田さんにお願いでとりまとめをして頂いただき、不協和音の演奏会にもご協力をいただきました。

音楽迎賓館、パイオニアの創設者松本氏の邸宅を改造しホールやサロン、広間等がある館、そこはこのようなイベントに最適イベントの最後は日本のチェンバロ製作史を振り返る「座談会」、そこでのお話しの中心は野村満男先生＝元新宿高校の音楽の先生＝日本におけるチェンバロ製作のバイオニア、その昔新宿高校音楽準備室で野村先生製作のチェンバロを見せて頂きました。そして昨年一月に亡くなった小林義武さん（13回）を思い出しました。小林さんは日本におけるバツハ研究のさきがけとしてドイツで新バツハ全集の編纂に携わり帰国後バツハに関する名著を書かれた方として著名、「朝陽」で執筆されているのを拝見し、先輩であることを知りました。バツハの時代には今のようないピアノはありませんでしたからチェンバロとバツハは大

変深い関係があります。

去年三月に新宿高校「音楽部」の演奏会にでかけました。音楽の小峰先生のご指導の元期待どおりの素晴らしい演奏でした。音楽部と言えはあの坂本龍一、彼は私達と入れ替わり、「今度ピアノが凄く上手な新入生が入部した」との情報、で高校に行って遊んでもらった事もありました。

新宿高校出身で音楽の世界で活躍している人は私知っているだけでも上記以外にもさまざま、今年一月には樋本英一君（25回）の構成と指揮で新国立劇場でオペラ上演がありました、指揮で活躍している後輩は何人も、また各地のオーケストラで活躍している人達も多数。また楽器作りで活躍している人達も。ドイツでトランペット造りで活躍する加藤朋海君（25回）の楽器はオバマ大統領就任パーティの際に使用されたとの事、イタリアでヴァイオリン造りをしている後輩も居ます。

新宿高校に入って五十年、今も音楽を樂しむ事ができて 新宿高校に感謝です。

〔合奏集団「不協和音」集客担当〕



今もこれからも

『顔が見える支援を』

一六回 藤田 愛子



二〇〇五年頃のチワワのTV・CMを覚えていらっしやいますか。

貸金業者のTV・CMです。社会問題化した貸金について、二〇一〇年貸金業法が全面改正され、上限金利を二〇%に抑えること、年収の1/3までの貸し付け制限、貸金業者の資産を五千万円以上にするなどが決まりました。

岩手県の信用生協の仕組みをもとに東京での需要に応えるために、私は貸金業を二〇〇五年に立ち上げています。突然のリストラ、ボーナスや給与の減額、病気などで貯蓄も底をついて貸金に頼り返済できずに破産など債務整理をした人に金融機関はお金を貸しません。この金融排除にあった方々や、国のセーフティネット貸付の対象にならない方々への融資を基本に社会的企業として起業しました。

融資の原資はファンド（二種金）です。年1.5%で回しています。ファンドは二億七千万円を超え、貸付残高は二億三千万円で推移しています。ファンドを五億にまで伸

ばしたいと考えています

この活動の一環として、二〇一一年の東日本大震災への支援ができないかと、国交省が提起した東日本震災応援プログラムにエントリーし中間支援組織として、まちづくり・仕事づくりのために人を派遣するのことにしました。

応援地域は弊社のモデルが岩手県ということもあり、震災後、人口減少、高齢化、過疎化の状況がさらに悪化し復興が困難を極めていた大船渡市と決めました。

復興の基本である地域のコミュニティを大切にしたい住まいや仕事を生み出すために、仮設住宅において被災者を対象にのべ二二人（男性六名、女性一六名、大部分が高齢者）に個別ヒアリングを行い、さらに健康法をテーマとしたワークショップを開催しながらより詳しくニーズを把握しました。

(1) コミュニティ形成型住宅の提案・防災集団移転促進事業においては、移転計画が提出済みであっても、工事や予算面でも被災住民にとって不安は続き、入居までをサポートし続けることが必要です。また、コーポラティブハウス事業においては、参加者決定、建築組合設立など課題が山済みであ

り、今後の事業展開は、地元NPO法人、企業への引継ぎが必要です。

(2) 住民による起業の提案・新たに設立された「ワーカーズ・コレクティブ」については、移動サポートの事業体設立、特産の柿を使った地域活性化や居場所づくりなど、起業意思のある方への支援主体として期待できます。特に移動サポートについては、参加意志のある方々が集まり設立に向けて話し合いができたため、行政やタクシー業界などと協議し、福祉有償運送を認可する「運営委員会」を立ち上げるまで、フォローしていききたい。いずれも、専門性のある方々の支援が必要であり、そのコーディネートは引き続きワーカーズコレクティブネットワークジャパンが担っていく予定です。

(3) 「『志』のある投資」による資金的支援の提案・住民の中に起業主体となるメンバーがあらわれ、仕事の職種も固まりつつあることから、大船渡市役所へファンド構想を提案した。また、大船渡市で支援事業を行なっている公益財団法人 共生地域創造財団に協力を要請した。住民による起業を進め、ファンドで支援すべき事業体を具体的に決定、資金的支援を行っていききたい

と考えています。

平成二五年一月、現地での移動サポート事業に関する説明会において、ファンドの仕組みと支援の構想を提案。仕事づくり説明会では、参加者から多数の質問も出てファンド利用への理解が得られました。二月二三日、東京四谷で開催した「第二回生活再生フォーラム」において九十名の参加者に対し、大船渡支援事業の進捗状況を報告し、ファンドの展開を告知しました。

これまでの成果をさらに具体化させる支援を継続していきますが、国交省の事業は平成二五年二月で終了しており、資金的な課題は大きく、その解決策を探りつつ事業を推進していききたいと考えています。

(社)生活サポート基金代表理事



## 晩節を汚す

一八回 鏡 明



映画館で、何のチェックもされずにシルバーチケットを売ってくれるようになってから、何年も経つ。最初は、ちよつとがっかりしたものだけれども、今では、すっかり平気になってしまった。自他ともに認める老人です。

自分が老人になるなんて、考えただけで、嫌な気分になったものだけれども、いざ、こうなってしまうと、これはこれでそんなに悪いものではない。何とはなしに、自由な気分にいる事ができる。

で、思うのだが、「老い」にまつわる言葉がなあ、どうにもよろしくない。「老害」を筆頭に「年寄りの冷や水」「老いては子に従え」。マッカーサーの言葉として知られる「老兵は死なず、消え去るのみ」とかさ、中には「亀の甲より年の功」みたいなものもあるが、亀と比べられてもなあ、どうなのよ、という気分になるではないか。要は、老いたら、後進に道を譲って、静かに余生を送りなさい、という事なんだろう。老人の利点はその経験だけである。それも、変化が急なこの時代では、過去の経

験にはさほどの価値はない、とまあ、こういう事なんですよ。わからないではない。かつては、私もそう思っていたからだ。が、実際にこの年になってみると、どうも納得しがないものがある。

大体、先輩に道を譲られても、うれしくないだろう。先人というのは、乗り越えるべきもので、道を譲られても、迷惑なように思うのだ。後進の者たちの邪魔をする必要はないが、道を譲る必要はもつとない。

「晩節を汚す」という言葉がある。老人ががんばると、このように言われる事になりがちだ。先般の東京都知事選の細川護熙元総理なんて、その典型のように言われた筈だ。けれども、私としては、あれはあれで正しかったように思う。もう一人の元総理、小泉純一郎氏に、やたら頼っていたというのは、ちよつと情けないが、大きく負けた事も含めて、立派だった。

「晩節を汚す」のパロディに「晩節は汚すためにある」というものがある。誰に聞いたのか覚えていないが、言い得て妙、という気がする。「晩節を汚す」という言葉がある事自体、けつこうな数の人が晩節を汚してきたんだろう。それなら、汚すためにある、という方が自然なのではないか。細川元総理は、好きな人ではないが、その正しいモデルを示してくれていたのだ。

話はあつちこつちするが、「晩節」の意味は「晩年の節操」というらしい。辞書にはそのようにしてある。私は「晩年の時期」というように理解していたのだが、間違いらしい。でもね、「晩年の節操」って、何だ？ だったら「中年の節操」「少年の節操」というものがあるのか？ 節操というものにそんな年齢的な区別がある事自体、おかしい。元々節操というものはもつと普遍的なものではなかったか。まあ、私はずつと節操がない奴と言われてきたから、汚しようもないし、ここは間違っている。「晩年の時期」ということにしておく。

考えてみなくともわかることだけれども、自分が晩年にあるなんて事さえ、わかる筈がない。それは極めて相対的なもので、明日死ぬかもしれないし、何十年も生きてしまふかもしれない。死んだ瞬間に晩年という概念が成立するのだろう。となると、晩節を汚さないようにするためには、かなり前から、品行方正な生活をしていなければならないし、静かにしていなければならない。無理だな、私には。それよりも、「晩節は汚すためにある」と割り切つて、様々な事をやったほうがいい。

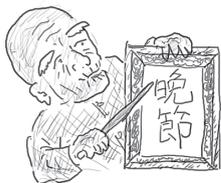
悟りきつた老人になるより、怒れる老人、煩惱まみれの老人の方が、世の中のためになるのではないか。反面教師の方が、ま

もな教師よりも、多くを教えてくれるという事も含めて、老害と呼ばれる事は、名誉な事だと思ふ。それはその人がちゃんと最後まで生きていたという印のように思ふからだ。潔いというのは、美しいかもしれないが、あきらめが悪いほうが、人間として正しいのではないか。少なくとも、生き物としては最後まであきらめないほうが自然ではないか。

もう老人なのだときらめずに、晩節を汚し、老害と呼ばれるようになったら良いと思ふ。しかし難しいかも知れない。汚すほどの晩節ではないように思ふからだ。今からでも、遅くない事を祈りたい。

(評論家、

ドリル・クリエイティブ・アドバイザー)



飛竜会 (中九回)

平成二五年の総会を、昨年と同じ新宿の「清月堂」で、五月一七日開催した。案内は所在判明の七名に行ったが、参集したのは、丹羽正治・島野毅八郎・上昌孝・古川晴康の四名で、斉田雄次・畠山利秋・村山幸雄・中館長也の四名は遠路の一人歩きは無理とのことで欠席となった。今回出席の上君は何拾年ぶりの出席であったが、耳が遠くご家族の送迎付きであり、昔の器械体操の名手も、年には敵わぬようであった。

昭和五年赤い頬で入学した私達も、今や九五乃至九六才の老翁となった。それでも中学時代の先生方の癖や、自分たちの悪戯など話している内に、腕白時代の顔に魅り不思議なものだと感じ入る次第であった。しかし次年度にも総会を継続するかどうかを論ずるに到り、総会は今年を以って打ち止めとすることに決した。これ迄何回総会を開催したか、記録が不備で明確な回数は数え得ないが、戦後生存者を確認するに際し、戦病死者が多数で驚いた事を覚えてい

る。それでも百名以上の同期生が集まり、年によっては伊豆の温泉に一泊の上、有志は翌日のゴルフに打ち興じたり、東京会館の大広間で盛大なパーティなどを開催したことなど思いでは残っている。

私達が入学した当時の校長は初代の阿部宗孝校長で朝礼では毎朝、明治大帝の御製を奉唱し、月曜の朝は興国之鐘を三三鐘されて、全校生徒を鼓舞されたのが、懐かしい思い出の一つである。あの日露海戦に際し旗艦三笠で戦闘に際し「皇国の興廃此の一戦に在り各員一層奮励努力せよ」の歴史的名鐘が戦後行方不明になったのは残念であり、淋しい。

毎年朝陽同窓会事務局のお世話で「朝陽」の同期会だよりのトップを飾らせて頂き、本当に有り難う存じました。朝陽の益々の御発展を祈念して筆を擱きます。

(中九回 古川 晴康)



中十四回同期会だより

長いこと我々の回の代表幹事として世話をしてくださっていた都竹武年雄君が、昨春以来、消息不明となりました。やむなく僭越ですが、小生が彼の代りをつとめさせて頂くことになりました。どうかよろしくお願い致します。

例会は従来通りの方式で、次の通り実行いたします。

日時 六月十四日(土)  
午前十一時三十分より  
場所 新宿中村屋

各人には通知を出しませんので、ご了承ください。

昨年の参加者は倉持幸一、中橋孝一郎、成田晴信のわずか三名。今年はもっと沢山集まって頂きたいものです。

(中十四回 倉持 幸一)

## 「六一八会」だより

○平成二五年度の「六一八会」

中村屋の工事が継続中なので、昨年引き続き、京王プラザホテル内の「南園」で開催。会員一七名、夫人一名、計一八名が出席されましたが、昨年は二五名でしたので老齢化の為とは云え、稍々さびしくなりました。

○現在進行中の中村屋の工事は二六年一月完成の予定ですが、先般世話人一同で中村屋に行き実地検分の結果、二六年六月には利用できることを確認し、なつかしい中村屋に復帰することに致しました。

是非奮ってご参加ください。

○その後、最近までに亡くなられた級友は次の通りです。

東矢 孝文（平成二四年九月一八日）

里見 宣男（平成二四年二月二日）

水口 英明（平成二五年一月七日）

栗原 重信（平成二五年六月一六日）

ご冥福をお祈り申し上げます。

○代表幹事交替について

「六一八会」の代表幹事は二〇〇八年、中里英二さんから小生が引継ぎ五年間つとめて参りましたが、この所体調不芳、世話

人各位と相談の結果、中島貞夫さんに、お引き受けいただくこととなりました。尚私は世話人として残りお手伝致します。○平成二六年からの代表幹事、世話人は次の方々です。

代表幹事 中島 貞夫

世話人 武富 邦中、柴沼 明、

諏訪 仙二、伴野 誠二郎

松浦 慎

（中一八回 松浦 慎） 以上

### 合奏集団「不協和音」第70回演奏会

2014.5.18(日) 18:00開演  
ルーテル市ヶ谷センター 入場無料  
合奏集団「不協和音」第70回演奏会  
モーツァルト 交響曲第38番「プラハ」  
C.P.E.バッハ：交響曲ニ長調 Wq.183/1

### 合奏集団「不協和音」第71回演奏会

2014.11.18(日) (予定)  
ルーテル市ヶ谷センター 入場無料

案内サイト：  
<http://arsics.sakura.ne.jp/Fukyowaon/recent.html>  
お問い合わせ先：fukyowaon7@gmail.com

## 六新会（二回）

丁度七十年前の昭和十九年春、六中入学時の明治神宮での恒例の記念集合写真は、幼顔の、各々が豆粒より小さい写真であった。この頃の六クラス、二九二人のうち一六十人は、この後一年半ばかりの間に、幼年校入学、疎開、被災などで六中を離れ、終戦時点には二クラス百三十人にまで減少した。

戦後になると一転、原学年への復学は五十人程度に過ぎなかったが、内地、外地からの転入などで漸増、五クラス二五五人にまで回復、四年終了時に旧制高校等への進学四十五人を出した後も、学制改革により新制高校に切り替わった時点等に転入生で補充され、昭和二十五年三月、二四二人が、新宿高校と改名後、初めての卒業生となった。

入学は六中、卒業は新宿高校という会員が最も多く、通算六年在籍した会員が居るほか、六中時代しか知らない会員、高校時代しか知らない会員も一体となって運営されている。

この同期会も、加齢とともに開催頻度を上げて、四年前から年一度の開催となった。



平成二十五年度の「第十三回六新会」は、九月二十八日（土）正午から前回と同じく新宿プリンスホテル「風雅」で開催、参加者三十五名の盛会となった。代表幹事の母校と朝陽同窓会の近況報告、物故者への黙祷、乾杯と型どおり進む。指名に従つ

て、順次マイクを握って語る話題は、思い出話、世相感慨、趣味嗜好、生きがいの奨め等々、種類雑多。お互い元気がもらえれば何でもよい。アルコールと減退聴力の所為で、てんでに盛り上がり始めたところで、旧校歌、健児の歌斉唱。

八十歳台に入って、出席が困難になる方々が増えてきたが、この会はいつまで続けるんだという声は、今のところ聞こえてこない。「同じ心の千余人」と唄うこの会は、まだまだ続きそうだ。

（六新会幹事 穴水 恒雄）

### 七回生「喜寿の会」盛会

今回の同期会は九十有余歳・国語の中野先生ご出席のもと、十月二日（火）正午から京王プラザホテルで開催しました。ほぼ半数の満七十七歳到達に因み「喜寿の会」と銘打って。

久しぶりの顔も見えての九六名という予想以上の参加者で、一同、医学・栄養の進歩による「数病息災」の恩恵に浴している有難味を改めて感じました。

話題として、当番幹事と事務局の尽力で在学中の「朝陽時報」（縮刷版）から、学園祭・運動会等の行事、部活の状況などがピックアップされ、手際よく「あの頃の思い出」として映写・供覧されました。卒業後六十年近くともなると、昔恋しい気分が出てきたせいもあってか、往時が一気に蘇って共感が盛り上がり会場は沸きました。特に、百人一首カルタ取り大会は我々の代から始まったことだとか、関西修学旅行は一年先輩からの二回目だとか、あの井の頭マラソンの距離は一万八百メートルなど、認識を新たにしたものもありました。

中野先生に、カルタ大会のお蔭で百人一首が身に染み付いて情操的財産になってい

る旨の感謝の念を申し上げると、昔怖かった先生の表情が続んで、何とも印象的でした。

再会を、そして「望むべくはTOKYOオリンピックまで」を期して一旦散会しましたが、会場を別フロアに移しての二次会も半数以上が参加して熱気を保ちました。ふと久々の昼酒の酔い心地に気づき、流れ解散で西新宿の街に降り立った頃は早くも宵闇が迫っていました。

（当番クラス幹事 3B 古田）

\*

二〇〇二年に当時閉鎖寸前だった旧校舎わき朝陽会館最後の同期会を開催（九八名）。○五年早春には内藤町に戻った三代目校舎見学を兼ねて卒業五十周年記念会（二五〇名）。その際クラス幹事会は以後二年ごとの開催を申合せ励行しました。

今回はそれから八年目。早くも次回は卒業六十周年ですが、喜寿に続く傘寿の節目も迫り「両方やれば」の声も無理からぬ中、開催時期が難問です。

（3C 森田）



記念すべき卒業五十周年  
(いちご会 / 15 回生同期会)

平成二五年のいちご会は卒業五十周年とあって、同窓会報「朝陽」の卒業五十周年寄稿特集、同窓会総会での馬場君の記念講演、朝陽クラブでの垂水君のミニ講演と、もともと同窓会行事への出演が多い年だったことに加え、青柳君の同窓会長就任、さらには七月に同君の文化庁長官就任という慶事も重なって、忙しくも記念すべき年になった。池辺君が九月一五日のまさに七十歳誕生日当日に開かれた古希バースデーコンサートでの交響曲第九番初演も忘れられない記念イベントだった。同窓会総会を始めこれらの行事には多くの同期生が応援に駆けつけた。

同期生の子女である宮崎陽江さん、椎名雄一郎さんのコンサートは既にいちご会行事の一角として定着、また各種行事への夫婦での出席が年々増加するなど、家族へと会が広がっていることは嬉しいことである。恒例のミニいちご会は三月「ラファエロ展鑑賞と講演の夕べ」と四月「修学旅行をたどる旅」以外では、一二月八日の忘年会にとどまったが、忘年会は青柳君の長官就任祝いを兼ねたことで、過去の例を大幅に上

回る約六十名の旧友が参集し記念すべき年を締めくくった。

(いちご会事務局 西出 紀久)



修学旅行を辿る旅 京都でのいちご会懇親会

20 回生 (楡の木会)

卒業45周年記念同期会

平成二五年十月二六日(土) 午後、非常に強い台風二八号が日本列島の東を北上する中、京王プラザホテル四階「錦」において同期会を開催しました。台風の影響で地方からの参加者にはキャンセルも出ましたが、あいにくの荒天にもかかわらず百九名の同期生が集まりました。

来賓に幸田操先生、佐藤喜一先生をお迎えし、ビートルズ・ナンバーをバックに卒業アルバムや当時の8ミリが映写される中で、お互いの再会を喜び合いました。また、メンバーの谷口かよ子さんから提供された、高校時代の教科書や「轍」「朝陽時報」のバックナンバー、校長杯バッジなどの「谷口コレクション」展示コーナーも人気を集め、思いつ話に花が咲いていました。夕刻からは同ホテル四五階の二次会会場へ。台風一過の夕景、夜景を眺めながらの歓談の輪が広がり、いつまでも名残を惜しみあっていました。

(二〇回 宇賀神 博)

## 新二五回卒業四十周年

二〇一三年は我々新二五回が卒業して四十周年を迎え、六月に記念イベントを実施しました。大勢の仲間と先生方に集まっていたとき、楽しいひとときを過ごすことができました。新宿高校の同窓会関係のイベントに参加すると、いつもながら懐かしさと共に新宿高校の底力を感じます。そんな中でも同期会は最もパワフルで、おかげで元気をいっぱい貰い、もう還暦・定年も間近という我が身にラストスパートのムチを入れよう、そんな気分になりました。参加したみんなも同じように感じたと思います。六月二二日、場所は新宿ワシントンホテルでした。新宿への拘りがある我々二五回は、同期会は必ず新宿で開催します。自動的に二次会も新宿になります。いつもと変り映えない場所、いつもと変り映えない幹事が企画する同期会ですから、そんなにフレッシュな会ではあるはず無いのですが、だからこそ昔の仲間との交流による懐かしさとプラスαの元気パワーを感じ取ってもらえるのでは無いでしょうか。それと我等二五回には業間体操を踊らせたら当代一のS君と、六中健児の歌のピアノ伴

奏をさせたらこれまた当代一のUさんが居ます。この二人のそろい踏みも今回久しぶりでした。ちよつと照れながら業間体操を踊り、声高らかに六中健児の歌を歌いました。

今日の記録のビデオと写真を見ています。パソコンを開けば簡単に見ることができ、みんな歳取ったなあとつくづく思います。あのサラサラ長髪だったA君が禿げた親父に、あのAKBかモモクロみたいにか愛かったBさんが孫が居るような婆さんに、変身しちゃいました。変身しようが昔のままだろうが、同期の仲間が集まるイベントに参加できる元気あればこそで、体調が悪く参加したくても参加できない仲間も何人も居るのが現実になっちゃいました。本当はそんな仲間こそ、同期会に参加し、元気を貰って帰って欲しい、これこそ代表幹事としての本当のミッションではないでしょうか。

次は二〇一八年、卒業四五周年です、projectsです。もう言い飽きました。二五回はこれがお約束です。今度こそ「全員集合」です。

(二五回代表幹事 D組 渡辺 康隆)

## 三五回

### 旧友が三十年振りに大集合！

平成二五年六月一日(土)、この日は昭和五八年三月卒業の三五回生にとって、三十年振りに多くの旧友と再会した忘れ得ぬ日となりました。宮崎君(B組)、小野さん(旧姓鈴木I組)を始めとする幹事諸君が準備万端で臨んだ同期会は、新校舎見学会に始まり一次会・二次会とまさに盛り沢山のイベントでした。

午前中の校舎見学会には三九名が参加、新校舎の立派さに感心する一方、歳月を経ても変わらない御苑の緑と現役生の礼儀正しさにも心を打たれました。午後の本番、ハイアットリージェンシー東京に集まった同期はなんと一八二名(同期の四割以上が再会!)、岩波・岡・鈴木(辰)・藤沢・成清の五先生にもご臨席いただき、大変な盛況ぶりでした。受付で渡された名札には在籍した組(筆者は1A・2E・3G)と卒業時の写真が印刷され、これが会の盛り上がり大いに役立ってくれたのです。なにしろ大多数が卒業以来会っておらず、ましてや他組ともなれば「あいつ誰だっけ?」となるどころ、胸元の名札の写真を見れば「あ、〇〇君だ!」といった具合に、歳月&容姿



のギャップを埋める切り札になったのです。さらには3年→2年→1年と在籍した組を遡るように、当時の級友がそれぞれのテールで再会できる心憎い演出や昭和五十年代の映像を懐かしみ、最後は六中健児を高らかに歌って再会の時は瞬間に過ぎていきました。これで解散はあり得ないと新宿西口の二次会には一・二・六名（！）がなだれ込み、「次回は五年後の卒業三十五年」と皆で誓い合いましたが、別れを惜しむ面々はさらに三次会→四次会へと流れていったのでした。

今年、私たちは五十歳の節目を迎えます。「五年後と言わずまた集まろう」との声も聞こえ始めており、再び懐かしい仲間と盃を傾げる日を期待している今日この頃です。

（三五回 三年G組 伊藤 裕之）



## 朝陽合唱団創設のご案内【団員募集】

六中、新宿高校の卒業生の合唱団は現在、男声合唱団が活動していますが、朝陽同窓会の会員は女子も多くなってきましたので、実情を勘案し、新たな混声合唱団である「朝陽合唱団」を創設する企画があります。これは「百周年記念プロジェクト企画」のひとつでもあります。

つきましては、自主的に活動される団員を募集いたします。

参加希望、説明会参加希望の朝陽同窓会会員はお名前などをお知らせください。後ほど（7～9月）、説明会などのご案内を送付させていただきます。

参加者が極端に少ない場合は、合唱団創設を断念する場合がありますが、幅広い回生からのご参加を期待します。

■説明会参加希望の方は、Eメール、ファクシミリ、または郵送で、「同窓会事務局 朝陽合唱団担当」まで次のことをご知らせください。

- ① 御氏名／
- ② 回生もしくは卒業年
- ③ 住所・郵便／④ Eメールアドレス
- ⑤ 電話番号／⑥ ファクシミリ番号
- ⑦ 性別／
- ⑧ 合唱経験など

（二七回 宮坂 雅子）

## 支部便り

### 朝陽USA支部便り

昨年は奇数年のため全米規模の集いはありませんでしたが、会員の多いロスでは四月に春の会、九月に初秋の会、ニューヨークでは五月にランチ会を開催しました。NYのランチ会開催にあたっては安部（佐瀬）ふゆみさん（三五）にご尽力頂き、お知らせを当地の日系フリーペーパー等に告知して頂いたことが功を奏し、三五、四四回生の若手会員が一気に数名増えるという嬉しい出来事がありました。

メーリングリスト上での情報交換も活発です。母校にまつわる最新情報は日本側事務局の小野瑞城さん（三四）に逐次メーリングリストに流して頂いています。物理的に会うことができなくても、バーチャルでは地球のどこにいても瞬時に仲間と繋がることのできる心強さ。インターネットに感謝です。さて、今年は一〇月十八日（土）にサンフランシスコ市内のハイト・アシユバリー（ヒッピー発祥地）地区にビクトリア調の一軒家を借りて第三回朝陽USA総会・同窓会を開催します。幹事はロスから

#### 第3回朝陽USA総会・同窓会

- ・日時：10月18日（土）  
午後4時（ソーシャルタイム）  
午後6時総会・同窓会開始
- ・会場：サンフランシスコ市内  
Haight Ashbury 地区の家
- ・会費：\$50
- ・問合せ・申込先：  
幹事代表 横田康子  
tel：1-818-314-5358  
E-mail：yasukoyc@gmail.com

車で六〇〇キロ走って前日会場入り。既に一月の時点で西海岸をはじめ東京・ブラジル・ニューヨーク・シカゴなど約二十名の方から参加のお返事が入っており、大いに盛り上がること間違いなしで、幹事一同ウキウキしながら準備を進めています。米国在住者はもとより、この時期サンフランシスコに出張や旅行でいらっしゃる世界中の同窓の皆さん、是非ご参加ください。ご連絡お待ちしております。

また随時新会員募集中です。アメリカ大陸に留学・在住の方、ご一報を！

（三四回 横田 康子）

### 北海道支部便り 北海道朝陽会へのご参加を

毎年七月第一土曜日に開催しています、北海道朝陽会は第三十回を迎えました。

会では皆さんの近況をご報告いたできておりますが、毎回時間が足りない状況で、今回は時間を早め

夕方四時半からとして、少しゆっくりと歓談いただける時間を増やしました。毎回のことですが、皆さんの話は非常に楽しく、普段の生活、仕事、健康や趣味な



ど多方面にわたり、時間を忘れてしまいました。今回は南聡さん（二六回）より第五十回日本レコードアカデミー賞（現代曲部門）を受賞されたとの嬉しい報告がありました。

二次会は曾根司さん（二八回）のお店（B&N）をほぼ貸切状態で、先輩後輩を問わずじっくりと話し込まれており、楽しく過しております。

北海道内にお住まいの方のみならず、転勤などで札幌を離れた方、お子さんが北海道の大学におられる方、この時期に合わせて北海道旅行をされる方など本州から参加される方もおられます。道内にお住まいの皆様、北海道にゆかりのある方、これを機会に是非連絡いただければ幸いです。北海道支部も少子高齢化が進行しております。特に二十代、四十代の方、連絡をお待ちしております。

今年の北海道朝陽会は、平成二六年七月五日（土曜日）十六時三十分から札幌グランドホテルで開催予定です。お問い合わせは江本まで

(080-1889-0610 または

hokkaido\_chouyou@yahoo.co.jp)

(三二回 江本 匡)

## 宮城朝陽会支部便り

当会は、宮城県内に在住する府立六中・都立新宿高校出身者の集いであり、実業界をすでに卒業されたOBのほか、現役社会人や学生からも広く参加を募り、活動しています。年代を問わない交流とアットホームな雰囲気が創立以来のDNAとして引き継がれています。

昨年は長梅雨がまだ明けきらないう七月二七日、一九名が参集のもと、賑やかに懇親会を開催しました（於・ホテル法華クラブ仙台）。本部からは、吉村幹事長、西出事務局長に加え、事務局から小出



懇親会にてホテル法華クラブ仙台

富江様の三名の方々が駆けつけて下さり、母校における現役後輩諸氏の奮闘振りや新宿界限の変遷などにつき、貴重な情報をプレゼント下さいました。

これは東京を離れ生活する我々にとり、ゼツタイに聞き逃すことの出来ない、毎年恒例の人気コーナーです。

また、転勤で宮城県を離れてもなお会員に名を連ねていただき、会を支えて下さる方が多数いらっしゃるのも当会の特徴の一つですが、今回も関東方面より、心の故郷・仙台へ、20清田啓夫さん、31中越一統さん、36高橋一隆さんが参集下さいました。毎年本当にありがとうございます。

また38小松偉二さんは奥様&かわいいお嬢ちゃん（三歳）と一緒に参加下さり、例年に増し華やかな雰囲気となりました。ご家族も含め当会にとって大切な応援団、誠に心強い限りです！

会員諸氏から近況やご活躍ぶりの報告がなされたあと、シメは恒例の「六中健児の歌」。今年の中越さんの名指揮のもと全員で高歌放吟。「また元気に頑張ろう！」とお互いの肩を叩き合いながら散会いたしました。

(二八回 小田島 肇)

## 多摩朝陽会支部便り

多摩ニュータウン朝陽会総会は、本年も七月六日(土)京王プラザホテル多摩にて開催されました。旧師の岩波裕治先生、佐藤喜一先生、六中一八回の大先輩、小野一男さん以下、二六名の方々にお集まりいただき、和やかなひと時となりました。

世話人を代表して五回河合明博さんからご挨拶があった後、母校の現況を朝陽同窓会幹事長である七回吉村悟さんよりご説明いただきました。パワーポイントで要領よくまとめられた新宿高校の様子を、スクリーンに映し出しながらのお話だったので、今春の卒業生が六五回生であるとの言葉には、ちよっとしたどよめきが起こりました。

ひき続き、前年より継続審議の会の名称について、「多摩ニュータウン」という言葉がエリアを限定的に感じさせてしまうため、広く「多摩」とした方が良いのではないか、という観点で意見の交換を行いました。一部より会の運用・維持に負担が大きくなるのではないかと、との声もありましたが、より広く沢山の方々に参加をいただきたく、また、多摩という名前は具体的に地域を限定することを目的としない、という

ことで賛同多数により、同日より「多摩ニュータウン朝陽会」を「多摩朝陽会」と名称変更することとなりました。

この後佐藤喜一先生のご発声により乾杯、気のおけない歓談タイムとなりました。お食事の途中にはインターネット回線をつなぎ、母校の現況紹介で使ったスクリーンに、前年立ち上げた多摩ニュータウン朝陽会のフェイスブックページを映し出し、デモンストレーションをするコーナーを設けたり、佐藤先生からは、創立九十周年記念誌の表紙を飾った若き卒業生(五四回百瀬晴海さんの姿)の絵葉書をプレゼントいただいたりと、例年に増して和気藹々な雰囲気のととなりました。勿論会の締めには健児の歌、元氣よく歌って再会を約しました。

多摩朝陽会は毎年七月に総会・懇親会を行っています。初めての方も大歓迎です。どうぞ一度足をお運びください。

(三三三回 大内 哲)



### いちご会(15回同期会)の皆様

古希記念同期会は、全員が満70歳に到達する来年、平成27年の6月の予定です皆様と元気な顔でお会いできることを楽しみにしています

幹事一同

### 有限会社 ナカ薬局

中 千 鶴 (15回)  
中 眞知子 (18回)

〒160-0004  
東京都新宿区四谷1-9  
TEL 03-3351-3011 FAX 03-3359-9991

## 東海朝陽会支部便り

二〇一〇年に発足して、昨年開催なく、今年二〇一三年十一月に第三回という若い支部同窓会です。

今年初めて三重県からの参加もあり、盛り上がりました。愛知、静岡、岐阜、三重県在住の朝陽同窓会の方々の集合場所は名古屋です。

今回は二〇一四年十一月二二日(土)を予定。

世話人代表

井手 峻(14回)

幹事

服部 牧子(20回)

電話 090 3444 5656

幹事補佐

古川 秀昭(15回)

電話 090 2136 0947

(一五回 古川 秀昭)



## 関西支部便り

### 関西朝陽会総会開催

関西朝陽会総会は平成二十五年十月二十五日(金)十八時三十分から二十時三十分までの二時間、梅田阪急グランドビル十九階の関西文化サロンで開催された。参加会員は十九名、本部から吉村幹事長(7)がご出席される予定でしたが、台風の影響により叶いませんでした。

会は渡辺信久氏(34)の司会で進行。濱名支部長(24)の挨拶、渡辺洪氏(R19)の音頭による乾杯でスタート。歓談をはさんで、濱名支部長が吉村幹事長よりお預かりした資料により、母校の現況や同窓会活動についてスライドを交えてご紹介していただきました。校歌、健児の歌を斉唱し、名残を惜しみつつ再会を期して散会しました。今回は、台風の影響もあり、参加人数が少なかったですが、その代わりにスピーチをしていただける方が多かったため、例年に引けをとらず盛会であったという印象をもちました。

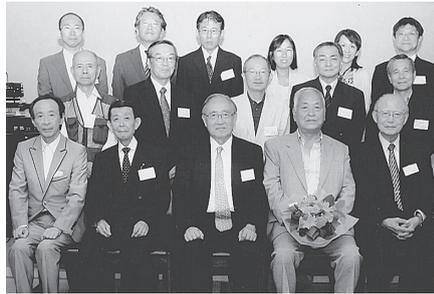
関西朝陽会では、青柳(6)、中野(14)、寺村(14)、濱名(24・支部長)、渡辺(34)、西島(44・事務担当)その他で世話人に当たっております。本部事務局なり関西世話



人なりその他の関西在住者にアクセスがあれば連絡は伝わるようになっておりますので、どうぞご遠慮なくご連絡ください。

(四四回 西島 健太郎)

## 九州朝陽会支部便り



九州朝陽会二〇一三年度の総会は、十月五日(土)午後四時より、福岡市の中心 天神の老舗中華料理店「福新楼」で開かれました。

当日はあいにく朝からの雨でしたが、今回初

参加の安武和之(23) 山川一弥(40) 両氏をはじめ、石井幸孝会長(3) 豊田信夫(7) 小泉純理(7) 森重夫(10) 大羽宏一(13) 岡本稔(14) 佐治尚雄(14) 野上秀昭(15) 坂本辰哉(19) 小林牧(28) 沼田(米)京子(29) 山下(亀山)美智恵(29) 野中道生(32) の十五名の会員が出席しました(敬称略)。

定例議事に続き、遠路お越しいただいた本部の西出事務局長から母校の近況などのお話を伺い、記念撮影の後和やかな雰囲気の中なか円卓を囲みました。

この総会では、二〇〇五年の九州支部の

再編から今日まで会の運営全般を主導してきていただいた小泉純理幹事長がその任を辞されるにあたり、二十一号まで発行された会報の休刊とそれに伴う支部会費徴収の休止が決議されました。支部再編に際し、小泉先輩が故小坂弘治先輩(新七回 当時博多座支配人)とともに情熱を持って取り組んで下さったればこそ、今日の九州朝陽会があります。この場をお借りして、文字通り心血を注ぎ多大なるお骨折りをいただいた小泉先輩に、心より御礼申し上げます。年が改まった一月二十五日(土)には、もつ料理の名店「月川」で新年会を行ない、初お目見えの芝原哲也氏(17)とお久しぶりのご参加 大谷昭示氏(5)のお二方を交えた十五名で、もつ鍋をつつきながらの楽しいひと時を過ごしました。

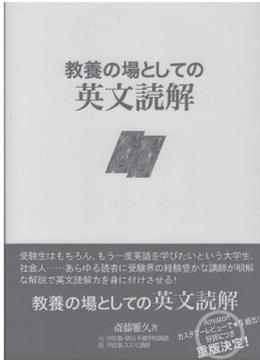
新たに事務局をお預かりする身としては、この九州の地に新宿高校同窓生が集える場があることを誇りに思い、若い力を結集して今後の運営にあたっていく所存です。当地方にご縁の方々からのお声掛けもお待ちしております。

kobnaki@pop01.odn.ne.jp

(二八回 小林 牧)

新宿高校 17 回生斎藤雅久著  
**教養の場としての英文読解**

現 武蔵野美術大学講師  
 元 河合塾・駿台予備校講師  
 游学社 (TEL 03-5337-0630)  
 定価: 本体 1800 円+税



英和辞典を引かなくとも理解出来るようになっていきます。また、それぞれの文章が書かれた時代背景や関連事項、さらには筆者の心理にまで踏み込んだ詳しい<解説>は、時に6ページにも及び、従来の類書には無い画期的なものです。あるあらゆる読者に知的興奮を与え、更なる知の世界へと誘うブックガイドの働きもしています。

パソコンで本書『教養の場としての英文読解』を「検索」し「カスタマーレビュー」をお読み下さい。

新宿高校の卒業生で学校の主(ぬし)のような存在だった地学の豊澤弘正先生、いつもゆったりとして大人(たいじん)の風格があった漢文の坂本右先生、そして何よりもいつも戦闘帽を被り雑囊というズタ袋をぶら下げて、今では考えられない事です。が昼間から校長室で饅頭を肴に一升瓶から日本酒を飲んでおられながらも、またその一方で私達生徒を一人前の紳士として扱って下さった沢登哲一校長先生などを覚えておられる、同窓生に拙著を読んで頂ければ、とても嬉しく思います。

受験生は勿論、もう一度英語を学びたいという大学生・社会人・退職して時間のあるあらゆる読者に、予備校・大学等で教えた経験が豊富な私が明解な解説で英文読解力が身に付くように致しております。

厳選された27の英文を例題に用い、平易な文法解説と明快な構文の説明を展開し、難解な単語には語注を加えてあるので、

## 表参道の青山ダイヤモンドホールで素敵な同窓会



同窓会をはじめ親しい方とお食事からパーティまで  
 大切な方と「絆」を深めるひと時をお手伝いします。

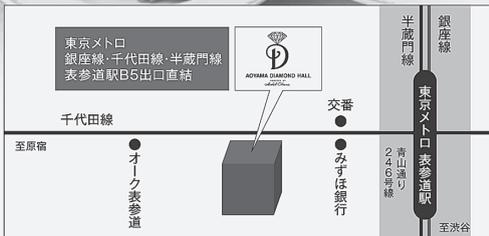
### 同窓会プラン

お料理とお飲物そして諸費用がセットになったお得なプランです。

お料理はホテルオークラ伝統の欧風料理と中国料理でシェフが腕によりをかけてご用意いたします。久しぶりに集う仲間との素敵なひとときがさらに思い出深い時間となりますように！

※詳細等お気軽にご相談ください。

母校創立90周年記念祝賀会にご利用いただきました。  
 (24回生の井坂が在籍)



青山ダイヤモンドホール

〒107-0061 東京都港区北青山3-6-8  
 TEL 03(5467)2111

表参道駅B5出口直結

朝陽剣友会（剣道部OB会）

（稽古会・総会報告）

十一月九日、剣道部OB会による現役との交流稽古会、並びにOB総会が行われました。稽古会は高校の道場に於いて、元顧問をされていた岡村先生（八段）の指導の下、多くのOB（三三名）が参加して、現役と共に熱のこもった稽古を展開いたしました。

稽古会には四十年卒の二名の大先輩も参加され、次いで開催された総会には、二九年卒の大先輩にも参加をいただき、改めて新宿高校剣道部の永い歴史と伝統を感じました。

これまでOB活動は、大学生を中心とした現役への稽古支援がほとんどで、社会人になった後は、特にまとまった活動はありませんでした。そういった中で、より多くの先輩後輩と交流する機会を持ちたいとの要望から、今回の稽古会、総会が企画された次第です。

新たに名簿をまとめ、岡村先生直筆の手拭いを作成し（現役にも贈呈）、総会にて、



平成25年11月総会にて

多くのOBの賛同を得て、朝陽剣友会として正式に発足させる事ができました。（今後定期的に開催します）

総会（八五名参加）後の懇親会は大いに盛り上がり、旧交を温めるとともに、世代を超えた多くのOBと交流を深めることができました。二次会もあちこちで、盛り上がったように、私も人生の楽しみが一つ増えた思いがいたしました。

現役、若手OB、大先輩と初めて会う方々も多くいらつしやいました。皆、礼儀正し

く、明るく元気で、頼もしい共通した雰囲気を持ち、永い伝統を持つ新宿高校剣道部に所属した事を、改めてありがたく感じました。

忙しい中、大変なお世話をいただきました岡村先生、現新宿高校の先生方、現役剣道部員の皆さんに、この場をお借りして、心から感謝申し上げます。

（二三回 亀尾 一弥）

新宿フィルOB合奏団

（通称「辻オケ」）

新宿フィルOB合奏団は、ご存じあの池辺晋一郎氏（一五回）らが中心となって結成された新宿高校管弦楽部（一昨年、創設五十周年を迎えました）の卒業生が一九八一年に結成したOBのオーケストラです。ベートーヴェンを中心にモーツァルトからブラームス、ドヴォルジャーク、チャイコフスキーなどの交響曲をメインとしたプログラムで、毎年秋に定期演奏会を開いており、本年（二〇一四年）で結成三三周年を迎えました。

創設時から代表兼指揮者を務める辻美隆氏（三三回）を中心としたメンバーは現在、管弦楽部の卒業生をメインにその縁で

集まった約五十人。

牛込公会堂で最初の定期演奏会を開いてから、しばらくは母校からも近い新宿文化センターにその舞台を移し、途中一九八九年、二〇〇五年には重要文化財にも指定されている上野の「奏楽堂」で演奏するなどユニークな年もありました。

最近では練馬文化センターなどで定期演奏会を行っております。

高校のクラブ活動のOB団体としてスタートしたためか同窓会的な性格が強く、同窓生の格好の交流の場となっております。社会人が大半を占めているため、月に二〜三回程度の練習に全員が集まるのは難しいという状況ではありますが、近年は団員の友人や家族、時には現役高校生にも参加を頂き、音楽という共通語を通して幅広い世代が結びつき、賑やかに活動中しております。

次回、第三十四回定期演奏会は十月十一日(土)十九時より練馬文化センター小ホールにおいてチャイコフスキーの交響曲第五番をメインに行う予定です。楽器から離れて久しい方でも大歓迎です。ぜひお気軽に我々のアンサンブルにご参加ください。お待ちしております。

(連絡先) spobe@mbr.nifty.com

(楽団HP) <http://homepage3.nifty.com>

/philharmonic/

(三七回 吉原 威文)

## ラグビー部OB会 初めての総会

私達ラグビー部は昨年の四月に初めてのOB総会を開きました。当日集まったのは九九人。

大盛会でした。まずは最年長で創部メンバーの一五回竹内先輩の挨拶から。ラグビー部は一九六一年六人で愛好会からスタート。情熱だけはあるものの、お金も部



酔っ払いおやじの大量生産でした

室も無く、おまけにメンバーまで足りず試合は他の運動部からの助っ人が頼りだったそうです。次は三四回山口君の挨拶。アルジェリアのテロで斃れた川畑君と同期です。「川畑は日本経済のプロップでした」との挨拶には皆感動しました。プロップはスクラムを何度もくみ、きつさの割にはボールに触る事の少ない縁の下の力持ちそのもののポジションです。ブランド建設で日本経済を縁の下で支えていた川畑君への素晴らしい言葉でした。黙祷の後、当日最年少の四九回竹内君の音頭で乾杯。楽しい宴会の始まりです。でもあつという間の三時間。折角多くの世代が集まったのに世代間の交流が少なかつたのが次回への反省点です。次回は来年の春を予定しています。その時はまた皆集まって下さい。連絡が無かったOB諸君は、1954keiao@gmail.comまでぜひ連絡して下さい。残念な事に今現役のラグビー部はありません。私達は第二の創部メンバーが出る事を切に願っています。もしその時が来れば我々OB会の出番だと思います。

最後に長い間顧問を担って頂き六年前に他界された津田先生のご冥福を皆でお祈りしたいと思います。

(二五回 青柳 恵一)

## 朝陽バレーボールクラブ

(バレーボール部OB/OG会)

当クラブは、新宿高校バレーボール部のOB/OGの親睦を図り、且つ現役の活動を支援することを目的に組織されてから既に四十年近く経ちました。登録会員総数は六百名を優に超えています。

主な活動内容として、毎年四月・シニア世代(六十五歳以上)を中心とした懇親会開催、毎年七月・定期総会・現役チームとの対戦・懇親会開催、これ以外にも各年代層で不定期に飲み会、ゴルフ大会等を開催し、旧交を温めています。

もう一つの目的である現役活動支援として、備品手配(ユニホーム新調、応援旗制作、練習ボール購入、その他)の援助をしています。

また、新宿高校バレーボール部では、昔から若手OB/OGが現役のコーチを務めることが伝統になっており、当クラブ発足の時点からコーチの交通費補助をすると共に、現役の指導をする若手OB/OGの現役合宿参加費支援もしています。

当クラブの年間予算は約四十万円、会費収入が総収入の二分の一強、また総支出の二分の一強が現役活動支援を占めています。

会員数に比べて、会費収入が少ないように思われますが、今後も「OB/OGの親睦と現役活動支援」を「継続は力なり」ということで、細々ながらも続けていく所存です。

当クラブのURLは次の通りです。OB/OGならびに現役の活動報告がありますので、よろしければアクセスしてみてください。

<https://www.facebook.com/groups/shinjukuvolleyballclub/>

<https://sites.google.com/site/shinjukuvolleyballclub/Home>

(二一回 西尾 洋)

## 放送研究部(RHK)OB会が 朝陽祭展示に参加して

昨年春、朝陽同窓会事務局から九月開催の母校学園祭に放送研究部(RHK)OBの当時の活動や歴史を「伝統と栄光」のテーマで参加できないかと要請を受けた。そこで連絡の取れる先輩、後輩に呼びかけ第一回打合わせを五月末に開き参加に向け動き出した。

何度かの打合わせを通じRHKの歴史を紹介するだけではなく部の創立から現役部

平成 25 年 9 月朝陽際での展示



員までつながり、RHKのさらなる発展になる動展示も含めた内容で参加することになった。

さらに多くのOB/OG会員に展示できる資料が手元に残っていないか声をかけた。RHKを立ち上げた先輩からは創部の経緯が伝えられ、六四年前の熱き思いを共有することができた。他の多くのOB/OGからも当時制作の放送劇の録音テープ、台本、アナウンス練習教本、部員交流誌、写真など数十年前の貴重な資料も集まった。七月に現役高校生部員と六十歳以上も歳の離れたOBと初顔合わせ。現役部員の活動やOBの昔の活動などの情報交換をし、交流す

ることができた。

集まった資料を整理し「伝統と栄光」のテーマにふさわしいか不安を残しながらも高校生時代に戻ったような雰囲気になりながら展示品を作成。九月の学園祭の展示部門に参加できた。

卒業後数十年経って学園祭に参加して最大の成果はRHKの歴史が整理された以上に創部時代のOBから現役員までの縦のつながりができたこと。そしてなによりも現役員がOB/OGと同じラジオが好き、放送が好きな少年少女であったことであった。OB/OG一同はRHKが創部百年に向けて更なる発展をするよう願っている。

(二五回 本多 武)

## 六声会合唱団近況

六声会合唱団は創立六四年になりましたが、益々活発な活動を続けています。昨年六月八日(土)には、新宿合唱祭で組曲「水のいのち」(高野喜久雄作詞、高田三郎作曲)から二曲を歌ったほか、十二月十五日(日)には第二九回定期演奏会を新宿文化センター大ホールで開催しました。

団員の平均年齢は七八才になりました。六中時代に当時の先生方に厳しくしごかれ

た結果、全国優勝を達成しましたが、その後長年の研鑽で磨きをかけ、独特の魅力ある男声合唱団になったと自負しています。

今回の演奏会は、指揮者飛永悠佑輝氏(三三回)でプログラムは次の通りでした。

### 一 男声合唱組

曲「海鳥の

詩」(更級

源蔵作詞、

廣瀬量平作

曲)

### 二 オクタビス

ト鈴木雪夫

さん(準団

員、超低音

で著名)の

ソロと日本

の歌、叱

この道、叱

られて、椰

子の実合唱

### 三 トステイ歌

曲集 セレ

ナータ、夢

魅惑、理想、

さようなら

の五曲

### 四 ソプラノと



テノールのソロとオペラ合唱曲 三井清夏さん、五十嵐修さんと共にヴェルディの曲など。

この後アンコール、来会者全員合唱もあり、大成功で、多くの方々から素晴らしい声をお聞きしました。

上越教育大山形名誉教授からは、「プログラムの構成が非常に魅力的で皆さんが楽しんでいました。飛永氏のトステイの編曲が六声会に即した非常に感心させられるものでした。全般的にテキパキとハツタリ感のない音楽進行で、大変に清潔感のある演奏でした。バスからテノールまで素晴らしいハーモニーで本当に満足して聴かせていただきました」とのお褒めを頂きました。

今後も歌い続けていきますが、何分現団員の高齢化は避けられないので、新人の参加を歓迎します。ご希望の男性は是非一度練習場においでください。

(二回 塩入 明)

## 第二一回東京校歌祭

平成二五年も例年の通り日比谷公会堂で十月五日東京校歌祭が開催されました。

昨年は他行事との関係で参加できなかった新宿高校音楽部員の皆さんが多数参加し



てくれ、若い力も加えて舞台から「新宿高校校歌」、「六中校歌」、「健児の歌」と歌声を会場一杯に響き渡らせました。

我が母校の校歌のみならず、多数の他校校歌を聞いてゆくと教育の理想、国の発展の礎になろうという理想に燃えた往時の思いがひしひしと伝わってきて感

激ものです。

卒業生は誰でも参加できますので、次回(平成二六年十月)は皆さんもぜひ参加してみたいかがでしようか。当日事前に声合わせ発声練習をしてから舞台上に上りますので、安心してご参加ください。

(二八回 林慶治郎)

## 戸 山 交 流 戦

	第5回ゴルフ交流戦	第6回囲碁交流戦	第3回ブリッジ交流戦
日時	平成25年11月22日	未定(都立囲碁交流戦との関係で調整中)	平成25年6月22日
場所	大宮カントリークラブ	高田馬場囲碁クラブ(予定)	四谷ブリッジセンター
参加者・新宿	17名(下表のとおり)	未定	12名(下表の通り)
参加者・戸山	19名	未定	12名
ルール (囲碁は予定)	新ペリア方式の両校上位10名のネットスコア合計団体戦	2回対戦(各2名組)持ち時間45分 オール互先 コミ6日半	8ボード3ラウンドのチーム戦
勝敗	負け、通算1勝4敗	未実施ですが、これまでの通算は2勝2敗1分け	94対86で勝ち通算1勝2敗

ゴルフ参加者		宮崎 直道	24
松本 吉弘	1	宮坂 雅子	27
鈴木 陽子	5		
吉村 悟	7	ブリッジ参加者	
小野谷 喜市	7	坂下 哲生	6
宇賀神 百合子	7	高野 弘子	7
中瀬 信一郎	11	中島 公明	10
平林 泉	11	中沢 允伸	12
神田 隆一	11	宮岡 淑子	7
大森 康晴	11	藤岡 正子	10
荒木 紀夫	11	岩橋 洋一	3
西出 紀久	15	矢木 薫	16
植村 秀樹	18	武田 宏史	12
植村 理恵	20	原田 あや子	17
笠井 加代子	22	上川名 栄子	12
龍岡 友子	24	斎藤 修郎	12



第5回ゴルフ交流戦 スタート前記念写真



第3回ブリッジ交流戦



カップ受領

<p>経営コンサルティング 特定社会保険労務士 行政書士</p> <p>所長 <b>窪田 道夫</b> (15回)</p> <p>(千葉県社会保険労務士会 監事) (みずほ総合研究所(株)相談部顧問) (ISO14001 審査員補) (東京都及び千葉県福祉サービス評価者)</p> <p>窪田事務所</p> <p>〒270-0157 千葉県流山市平和台2-5-8 電話：04-7159-9481 E-mail：qqaw8wd9@happytown.ocn.ne.jp 携帯電話：090-5509-9810 携帯mail：kbt258ngy@docomo.ne.jp</p>	<p>包装資材販売会社 <b>株式会社エムエイティ</b></p> <p>代表取締役 <b>富田裕夫</b> (15回)</p> <p>〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2-11-4 TEL：03-3707-4768 FAX：03-3707-3589 http://www.m-a-t.co.jp</p>
<p>ジユク！ファースト！！ 弁護士 <b>木村真一</b> (16回)</p> <p>〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2 新日石ビルディング9階 高橋法律事務所 電話：03-3213-5771 FAX：03-3213-5774 E-mail：s-kimura@abox3.so-net.ne.jp</p>	<p><b>株式会社緑生研究所</b></p> <p>代表取締役 <b>井上康平</b> (16回)</p> <p>〒182-0026 東京都調布市小島町2-40-10 電話：042-499-7211 Fax：042-487-4334 E-mail：inoue@ryokusei-ri.co.jp URL http://www.ryokusei-ri.co.jp/</p>
<p><b>石田和雄法律事務所</b></p> <p>弁護士 <b>石田和雄</b> (16回)</p> <p>〒105-0004 港区新橋1-16-6 新橋柳屋ビル8階 電話：03-3503-8688 Fax：03-3503-8689 E-mail：k-ishida@crux.ocn.ne.jp</p>	<p><b>麦田法律事務所</b></p> <p>弁護士 <b>麦田浩一郎</b> (16回)</p> <p>〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-13-601 電話：03-5562-0571 Fax：03-5562-9481 E-mail：mugitalo@mb.infoweb.ne.jp</p>
<p><b>(一社) 生活サポート基金</b> ～市民が市民を救う社会へ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活再生相談・融資・個人再生ファンド</li> <li>震災復興支援、福祉施設建設運営・管理事業</li> </ul> <p>代表理事 <b>藤田愛子</b> (16回)</p> <p>URL <a href="http://www.ss-k.jp">http://www.ss-k.jp</a></p>	<p>◇地質・地下水調査、解析 ◇広域水収支 ◇米国BASKI(バスキー)社パッカー輸入代行 ◇土木計測 のことは…</p> <p><b>有限会社 アキテック</b></p> <p>代表取締役 <b>芳野 裕</b> (24回)</p> <p><b>Aquitech Engineering Co., Ltd.</b></p> <p>〒164-0003 東京都中野区東中野1-54-7 田嶋ビル301 電話：03-5330-9171 yoshino@aquitech.co.jp</p>
<p><b>笹木和義法律事務所</b></p> <p>弁護士 <b>笹木和義</b> (25回)</p> <p>〒737-0811 広島県呉市西中央5-8-29 電話：0823-32-7288 Fax：0823-32-7289</p>	<p><b>坪井昌造法律事務所</b></p> <p>弁護士 <b>坪井昌造</b> (26回)</p> <p>〒107-0062 東京都港区南青山1丁目10番4号 南青山NKビル4階 電話：03-5771-8041 Fax：03-5771-8042 E-mail：tsuboi-lawoffice@muh.biglobe.ne.jp</p>

<p style="text-align: center;">おいしい幸せ <b>オキコ</b></p> <p style="text-align: center;">http://www.okiko.net 沖縄県西原町字幸地371 TEL (098)945-5021</p>	<p>税理士法人アドヴァンス会計 副代表社員税理士 <b>松野淳子</b> (27回)</p> <p>〒154-0004 世田谷区太子堂1-12-39-7F 電話：03-5787-3255 Fax：03-3413-6255 E-mail：j-matsuno@advance-tax.com</p>
<p><b>やまぶき法律事務所</b> 弁護士 <b>佐藤貴則</b> (27回)</p> <p>〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1 シンコー・ミュージック・プラザ 5階イースト・ウィング 電話：03-5577-6901 FAX：03-5577-6902 E-mail：sato@yamabuki-law.jp</p>	<p><b>山本会計事務所</b> 税理士 <b>山本展也</b> (27回)</p> <p>〒150-0042 渋谷区宇田川町2-1-508 電話：03-5459-3411 Fax：03-5459-3413 E-mail：LDZ00547@nifty.com</p>
<p><b>登大路総合法律事務所</b> 弁護士 <b>田中啓義</b> (28回)</p> <p>〒630-8213 奈良市登大路町5番地修徳ビル1階 電話：0742-23-8710 Fax：0742-23-8699 E-mail：tanaka@gmail.plala.or.jp</p>	<p>医療法人社団恵比寿会 <b>淳クリニック (内科・小児科)</b> 医学博士 <b>内藤 淳</b> (28回)</p> <p>〒150-0021 渋谷区恵比寿西1-4-2 ツムラビル2F 電話：03-5489-0463 Fax：03-5489-0463 http://clinic.blog.ocn.ne.jp/junclinic</p>
<p><b>島崎会計事務所</b> 公認会計士・税理士 <b>島崎主税</b> (28回)</p> <p>〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-1-7 新宿ダイカンプラザA館310 電話：03-3361-4793 Fax：03-3371-7368</p>	<p><b>入澤法律事務所</b> 弁護士 <b>入澤武久</b> (36回)</p> <p>〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビルディング9階 電話：03-3273-5758 Fax：03-3273-5759 E-mail：irisawa-law@lily.ocn.ne.jp</p>
<p><b>松山税務会計事務所</b> 税理士 <b>松山弘行</b> (36回)</p> <p>〒104-0031 中央区京橋2-1-1 第二荒川ビル202 TEL：03-6225-2330 FAX：03-6225-2339 E-mail：matsuyama-kaikei@nifty.com</p>	<p>弁護士法人朝日中央総合法律事務所 弁護士 <b>田中真之</b> (53回)</p> <p>〒100-6019 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル19階 電話：03-3509-1030 Fax：03-3509-1032 E-mail：sa.tanaka@ac-law.jp</p>

## 追悼文・訃報 亡き恩師を偲んで

志賀先生の思い出

三堀 健（四回）

志賀義雄先生略歴

母校教師 理科／化学

昭和二三年三月～四二年四月

平成二五年一月二九日逝去



志賀義雄先生が昨年一月二九日九六歳で黄泉路へ旅立たれました。ご悲報は私たち四回生の「ろく

らす会」総会（昨年十一月一四日）の席で事務局を司る秋山衛君から伝えられ、出席者一同黙祷を捧げました。

志賀先生には、ご専門の化学について豊かなご温蓄とご熱意を傾けて懇切にご教導賜り、また私たち三年B組の学級担任として当面の学習や将来の進路等に関し親身なご指導・ご助言にあずかりました。

端正温厚であらせられた先生は、授業では難解な事柄も諄々と説かれました。朝陽五十号に載った轡田取君（同期）の「師のあだ名」には、志賀先生の「ハイド」は「Hydro）から？」とありました。化学で

お馴染みのこの用語の思いがけぬ愛称化には先生のお顔も綻んだことでしょう。

思えば私たち四回生の多くは終戦の翌年都立六中に入學し、学制改革に伴い六中・新宿高校を通じ六年間母校にお世話になりました。志賀先生は学窓を巣立つ私たちを懇ろに導かれ、時には温かく見守り、時には奮起を促されました。その巢立ち前後に先生のお宅に連れ立って伺い、はなむけのお言葉を頂いたこと等、思い出は尽きません。

母校で二十有余年教鞭を執られ、重きを成された先生は、その後都立駒場高校教頭を経、都立永山高校の開校準備に尽力されました。そして初代校長として同校発展の礎を築かれる貴重なご貢献をなさいました。ご遺族から清水正陽君（同級）が承ったところ、元氣にお過ごしでした先生はお風邪で明日医師に診てもらおうかと言われた翌朝ご逝去とのこと、誠に哀惜にたえません。

私たちが敬慕する志賀義雄先生、ご薫陶に深く感謝致しますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

追悼 石島克彦先生

二五回代表幹事

渡辺 康隆（D組36番）

石島克彦先生略歴

母校教師 社会科／日本史

昭和四五年四月～昭和六十年四月

平成二四年八月一日逝去



石島克彦先生は、我々新二五回では、D組を担当しておられました。その頃の何年間かは「複担任

制」といって、各クラス二人の先生に担任していたいていました。ちなみにもうお一人は大西安先生です。

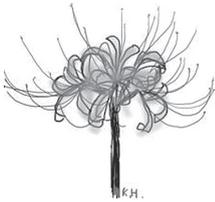
社会科で日本史を習いました。日本史は三年で習ったと記憶しますが、自分が理系だったせいとか、どんな授業だったか殆ど記憶にありません、すいません。

二〇一三年に我等二五回は卒業四十周年を迎えました。幹事が集まり記念同期会のアクションを始めた二〇一二年の暮れでした。案内状の発送のため同窓会事務局に最新名簿を取り寄せようとして、「石島先生逝去」を知りました。亡くなったのは二〇

一二年八月一日と聞きました。幹事仲間の誰に聞いても知らない、「お亡くなりになる時まで地味な目立たない先生だった」これが我等二五回幹事団の率直な感想です。

二五回の同期会には何遍か参加いただきました。印象的だったのは、三十周年（十年前）の時、当時の週刊日誌その物を持参していただき、「これ持っつても」と自分に渡された事。その文面は、自分を含め生意気だった高校生ばかりが登場して、読んでいて恥ずかしくなりました。

それと先生方からは会費はいただかないのが決まりなのですが、石島先生は「おいこれ渡辺」と代表幹事の自分を呼んで、さりげなく目立たないように「お祝い」の封筒を差し出されました。こちらも先生の意向を深く理解し、さりげなくいただきました。どうも有難うございました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



恩師 有賀健治先生を偲んで

小野 瑞城（三四回B組）

有賀健治先生略歴

母校教師 理科／物理

昭和二七年九月～昭和六十年四月

平成二四年八月二五日逝去



有賀健治先生が平

成二四年八月二五日に御逝去されました。

有賀先生には必修の物理Iを御指導頂

きました。進みが速いとお噂は伺っていましたが、実際には想像をはるかに超えていました。しかしながら実に熱心にそして強く訴えかける様にお教え下さいました。

御説明の後で必ず問題をお出しになり、すぐに左手にお持ちの黒板消しで前の方の生徒を一人ひとりお指しになりながら「どうですか？どうですか？」とお尋ねになりました。あまりの速さに誰も答えられずにいるとすぐに解答をお示しになり、「これだけのことですわね。どうってことないでしょ？」と仰ったことが懐かしく思い出されます。

授業中にはとても理解できずノートを取るのみで夜に自宅で考えるということの繰り返しでした。大変だとは思いましたが、具体的な問題豊富にお出し頂いたことで本当に理解をお助け頂いたと思います。私は半導体の技術屋を生業として居りますが、それに必要な基礎をお与え頂いたと思います。

座学の授業は速くはありましたが穏やかな先生という印象でした。ところが実験の授業では何か変なことをしているとすぐに「そこ、止める！」と厳しい調子で仰り、少し怖い先生という印象でした。座学と実験とで何故あのように違うのかと当時は不思議でしたが、実験は危険なこともあるので事故や怪我を御心配されたのかと思います。先生のお人柄の感じられる思い出です。

多々お世話になりながら卒業後は殆どお目に掛かることもなく、然るべきお礼も申し上げずに失礼なことをしたと思います。今更ながら有賀先生の御指導に深くお礼を申し上げますと共に御冥福をお祈り致します。

合掌



恩師・島田先生への感謝

光畑 欽史 (30回)

島田房二先生略歴

母校教師 保健・体育科

昭和四七年四月〜昭和六二年四月

平成二五年一月二四日逝去



今でも時々夢を見ます。真夏の日差しとハンドボールコート、チームメイトと島田先生：私の原風景です。



昭和55年三宅島での合宿にて、左端が島田先生

私の時代、ハンド部は土日もなく練習漬けでした。夏合宿は灼熱の三宅高校。家族旅行も法事出席すら儘ならぬ状況に他の学友を羨んだり「先生のご家族には不満がないの

かしら」などと余計な心配をしたものです。熱血指導くださる先生とは幾度も衝突しました。しかし、その結果、競技エリートのみ学校と伍して都大会ベスト4という成績も挙げられました。この経験は今日の私を支えてくれています。

また、島田先生は二年〜三年生時のクラス担任でもありました。この時のクラス仲間はいへん仲が良く、今でもときどき集まり近況を報告し合います。この仲間の一人が、先日、先生を偲んで集まった時に「社会人になってからも折々に相談にのって頂いていた」と明かしたのは驚きでした。先生の葬儀には、ハンド関係者のみならず、クラス担任の教え子が多く参列していたのも分かる気がします。

私が卒業後、島田先生はバルセロナ五輪に審判として参加されました。二〇〇五年に病気が発覚、人工肛門となり、その後も苦しい治療が続く中で、ハンドボールの普及に、スキーマの指導員にと精力的に取り組まれていました。亡くなる数週間前にも辛い身体でご家族とスキーに行かれ、最後はご家族に感謝を伝えて旅立ったそうです。島田先生はその終末においても、私たちに多くの示唆を残してくださいました。

合掌。

計報

小俣盛男先生

(平成二五年一月二二日歿 八十歳)

教科科目…社会科日本史

担任…二四回日組

在勤…昭和四三年四月〜四八年三月

新宿高校より東京都教育委員会指導主事、

文部省教科調査官、信州大学教授

因藤龍彦先生

(平成二六年一月三日歿)

教科科目…国語科

担任…三八回A組

在勤…昭和五七年四月〜平成元年三月



## 母 校 便 り

学校長所感 校長 戸田 弘美  
名門都立高校人気復活の旗手として



本校に着任して四年目を迎えました。今年度も「進学指導特別推進校」として、進学実績の向上に励むと共に、本校の伝統である「文武両道」を様々な教育活動で推進します。

昨年度の教育活動を報告いたします。

### 一、進路指導 学習指導

昨年春、現役生が二名、東大合格という久々の快挙に加えて、他の難関大学合格者数も増加しました。そのため、昨年度は当初から在校生も先輩に続けとばかりに、勉学に勤しむ勢いが増していたように思われます。「進路は補欠なき団体戦」の合言葉のもとで、生徒は仲間と共に励ましあい競い合いながら、活気ある学校生活を送りました。九月に雑誌「アエラ」による名門都立高の特色ある取組みや進学指導に関する記事で、日比谷や西高等と共に本校が掲載されました。生徒の学力の伸びを重視していることや、宿題や勉強合宿を行って自学

自習の習慣をつけていること等が紹介され反響がありました。また、塾や予備校に行かなくても難関大学に合格できる、面倒見のよい学習指導等が高評価をいただき、今春も本校を受験した中学生は高倍率でした（推薦約七・六倍、一般約二・〇倍）。

### 二、生活指導 学校行事 部活動

新所持ち味の「団体戦」は、学校行事、部活動でも発揮されています。運動会、文化祭、合唱コンクールなど、多くの学校行事での発表や創作活動を通して仲間と切磋琢磨する中で、教育目標である「自主自律・人間尊重」の精神が自然と養われるのが新潮流です。部活動では運動系の活躍だけでなく、生物オリンピック優秀賞、囲碁全国大会出場、E S S 都英語ディベートコンテスト二位等、文化系の成果も顕著でした。

平成二三年は東日本大震災の影響を考え臨海教室を中止しました。一昨年に復活し、昨年は遠泳を大賀海岸着とした危機管理優先の新コースで実施しました。遠泳の際、船上から見ていると水泳部OB OGの皆さんが生徒を大声で励ましながら伴泳し、サポートする姿に、胸が熱くなりました。同窓会の様々なご支援に、お礼申し上げます。

## 強くなった六六回生

副校長 樋口 博文



平成二五年度も去る三月一五日に第六六回卒業式を無事に終え、新たな卒業生を送り出すことができました。当日は次期会長の垂水尚志様にご挨拶をいただき、また、幹事長の吉村悟様、事務局長の西出紀久様にご臨席いただきました。

今回卒業の六六回生は、入学直前に東日本大震災を経験した生徒たちであり、残念ながら伝統ある臨海教室を経験出来なかった学年でした。臨海教室を経験して初めて真の新宿生になれるという伝説がある中、その経験はありませんでしたが、臨海教室の遠泳に代わって本校プールでの四五分間泳を行うなどして遅く成長をした学年であったと感じています。その表れのひとつが、センター試験での切り替えの良さであったと思います。ご存知のように、昨年、今年とセンター試験の一部が難しく、生徒だけでなく指導をする教員にも戸惑いが出ました。昨年は生徒の戸惑いを払拭して志願先の検討や二次試験対策に教員が奔走し

ていたのを覚えています。しかし、今年の

六六回生は、センター試験が予想外に難しいことがあることも想定内としてとらえ、切り替えを早くでき、センター試験二日目や二次試験に臨むことが出来ました。先輩が経験したことをわが身のこととしてとらえて生かしていく「チーム新宿」の素晴らしさが出た一面ではないかと思っております。六六回生の進路状況は後掲させていただきますが、昨年に劣らず素晴らしい結果が出せたと思っております（同窓会の皆様からすると、まだ物足りないかもしれません。まだまだ伸びる新宿高校に期待してください）。生徒たちの意識も、いわゆる最難関大学も志望校として当然のように考えるようになってきております。もちろん、その意識に見合うだけの学力や見識等を身に付けるために惜しまず努力するように教職員一同指導をしておりますし、生徒たちも期待に応えております。生徒たちの意識向上のため、一年次生向けの進路講演を次期会長の垂水尚志様にお願いました。二年次生には昨年に引き続き東京外国語大学学長の立石博高様にご講演を頂きました。このような社会で活躍なさっている方々の講演は生徒に大きな刺激を与えることとなります。朝陽同窓会の方々には機会があれば是非、ご講演いただければと思っております。

ます。

さて、先ほども触れました臨海教室ですが、安全面を最優先し、平成二三年度は中止し、平成二四年度は再開しましたが、遠泳は館山寮前の入り江内の周遊としました。平成二五年度は安全面を最優先としながらも、遠泳の方法を再検討し、従来の遠泳ほどの距離ではありませんが、隣湾への遠泳へ変更をしました。潮の流れや風の向き波の高さ、水温等を総合的に判断して、コースを変更しながら無事に四期とも遠泳が完了しました。これからも安全面を最優先にし、無事故で臨海教室を終えられるようにしていきますので、同窓会からのご協力をこれまで以上にお願いいたします。

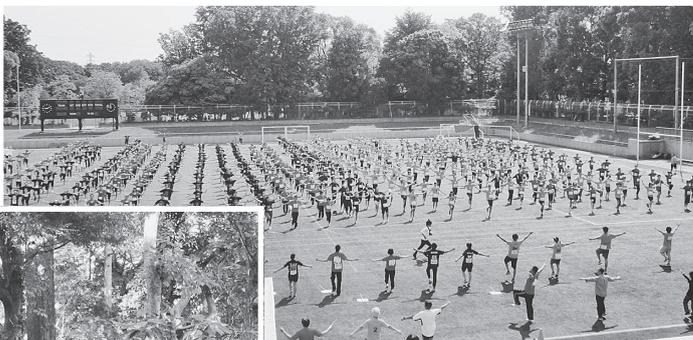
最後に、主な学校行事と教職員異動一覧を掲載いたします。教職員の異動にしましては、ここ数年が大きく入れ替わる時期になるかと思えます。また、東京都全体としまして、ベテラン教職員の退職が多くなることもあり、本校も新規採用者が毎年赴任することとなるかと思えます。若手が増えることで、学校全体の活気が更に向上することを期待しております。今後とも新宿高校へのご支援をお願い申し上げます。

## 平成25年度主な行事

始業式	4月7日		
入学式(68回生)	4月8日	新入生	男子154名 女子167名
セミナー合宿(1年次生)	4月10日～11日		
運動会(駒沢公園)	5月9日		
戸山戦	6月7日		
臨海教室	7月24日～8月7日		
宿泊防災訓練	7月29日、30日		
朝陽祭	9月7日、8日		
勉強合宿	10月3日、4日		
修学旅行	12月8日～11日	広島～京都	
合唱コンクール	1月21日		
マラソン大会	2月7日		
卒業式	3月15日	男子127名	女子190名
修了式	3月25日		

# 母校アルバム

5月  
運動会



5月 御苑での奉仕体験活動



6月 戸山戦剣道

7-8月  
塩見臨海教室



9月 朝陽祭



1月 合唱コンクール



11月 秋のミニコンサート

2月 マラソン大会



3月 百人一首大会



3月 卒業式

平成26年4月1日現在の教職員異動は以下の通りです。(非常勤除く)

氏名	転出先等	転入者氏名	転入前所属	教科等
堀川 真理子	国立(全)	山田 真哉	新規採用	国語
木村 知博	戸山(全)	松木 丈浩	小山台(全)	数学
小野澤 敦	板橋(全)	宮山 尚之	小石川中等	数学
芳賀 紀久美	駒場(全)	山田 茂博	城東(全)	理科(生物)
小野 誠	八王子東(全)	浜中 勇一	武蔵丘(全)	英語
江川 敦子	田園調布(全)	椎名 貴世子	青山(全)	英語
吉目木 直子	小山台(全)	井 慎一郎	国立(全)	英語
吉井 宏	武蔵村山(全)	森 文典	晴海総合(全)	美術
黒尾 卓宏	板橋(全)	奥山 峰志	蒲田(全)	保健体育
佐藤 貴文	足立(定)	岡崎 寛	新規採用	保健体育
村田 誠一	白鷗(全)非常勤教員	三澤 義徳	県立常盤高校	数学
小尾 敏明	指導部指導企画課			

2005年及び過去10年間 大学別合格者数(現役+既卒)

国公立大	2005	2012	2013	2014
	57	64	65	66
北海道大		1	7	1
帯広畜産大			1	
東北大		1		3
山形大			1	
茨城大	1	1	1	
筑波大	1	2	4	1
埼玉大		1	6	7
千葉大	4	9	12	10
お茶の水女子大				1
電気通信大	4	2	3	4
東京大				2
東京外国語大	1	2	3	3
東京水産大	2			
東京海洋大			2	1
東京学芸大	2	10	5	9
東京芸術大	1		1	1
東京工業大		3	3	1
東京農工大	3	3	6	5
一橋大	2		1	4
横浜国立大	2	4	6	5
信州大		2	2	2
新潟大			1	
静岡大	1		1	2
金沢大		1		1
名古屋大		1		
京都大				1
大阪大		1		2
九州大				
東京都立大	2			
首都大東京		18	12	16
横浜市立大	1	3	1	1
他の国公立大学等	7	10	13	13
国公立大学等計	34	75	94	94
現役大学進学率	54.6%	80.5%	83.7%	79.9%
クラス数	6	8	8	8
入学時の倍率	1.32	2.34	2.48	2.08

私立大	2005	2012	2013	2014
	57	64	65	66
青山学院大	26	31	28	32
学習院大	11	20	20	16
北里大	4	8	9	7
慶應義塾大	6	13	27	18
工学院大		9	3	13
國學院大	5	7	4	9
国際基督教大			2	
駒澤大	12	19	15	23
芝浦工業大	5	40	50	53
上智大	5	12	24	26
成蹊大	9	28	22	20
成城大	9	10	20	4
専修大	5	7	15	14
中央大	13	60	47	49
津田塾大	1	5	8	14
東海大	4	7	4	12
東京女子大	3	11	29	31
東京電機大	4	7	2	7
東京農業大	5	21	18	11
東京薬科大	1	3	4	2
東京理科大	12	38	43	53
同志社大		2	1	
東洋大	10	36	40	42
獨協大	3	4	7	3
日本大	45	53	51	52
日本女子大	2	23	25	29
法政大	34	46	54	71
武蔵大	7	11	15	10
東京都市(武蔵工)大	4	7	16	15
明治大	34	92	117	102
明治学院大	19	24	24	22
立教大	7	71	56	65
早稲田大	30	64	52	65
以上の私立小計	335	789	852	890
他の私大短大	136	148	122	142
私大・短大計	471	937	974	1032
大学・短大総計	498	1031	974	1126
卒業生の数	229	323	318	317
現役大学進学率	54.6%	80.5%	83.7%	79.5%
クラス数	6	8	8	8
入学時の倍率	1.32	2.34	2.48	2.08

## 部活動紹介 写真部

顧問 熊谷 圭二郎

現在、写真部は三年生三名、二年生一名、一年生六名で活動しています。大会としては東京都高校文化連盟が主催している地区大会（七月開催）と中央大会（十二月開催）に参加しています。今年度は三年生の生徒が優秀賞を頂き、長崎で行われた第三十七回全国高等学校総合文化祭に参加することができました。

写真部というと一眼レフを持って写真を撮りに行くというイメージがあるかもしれませんが、本校写真部の場合、コンパクトカメラやスマートフォンなどのカメラを使って撮影している生徒もいます。まずは写真の面白さを知ってもらうことを重視して活動しています。

活動日としては週に一回、部員が集まり、今後の活動などを話し合っています。基本的には写真は各自で撮ることにしています。が、月に一回程度、部員が集まり撮影会なども行っています。また、今年の夏からプロのカメラマンにボランティアとして来ていただき、写真の撮影の仕方や写真の評価、撮影会なども行っています。プロの視点か

らの指導は生徒たちにとつとでも刺激的なようで、カメラの面白さにはまっていく生徒もいます。

このように本校写真

部の活動は活発になりつつありますが、その一方で問題もあります。一番大きな問題はカメラに関する機材がとて少ないという事です。カメラはもちろん、三脚も、照明器具もないため、自分たちが個人で持っている機材を使って活動しています。これから少しずつ必要なものを揃えようと、自分たちでいろいろ工夫しながら活動していかなければと思っています。

全国大会に参加できた現在、部員たちの次の目標は写真甲子園の出場です。これからも写真を楽しみながら、いろいろな作品作りをしていきたいと思っています。今後とも新宿高校写真部をあたたく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。



全国大会出品作品「空中走行」  
(中央大会優秀作品)

## 部活動紹介

### 男子ソフトテニス部 女子ソフトテニス部

顧問 五関 紀子

三年生が六月初めの戸山戦で引退したため、ソフトテニス部は現在、一・二年男女併せて十七人で活動しています。活動日は火・水・金曜日と土曜日または日曜日の半日です。個人戦、団体戦を含めて年間女子は約八回、男子は約十回公式戦があります。公式戦前には校内戦を行い、それぞれ課題を克服しようと切磋琢磨しています。

放課後の練習時間は短いのですが、人数があまり多くないうえにボールアップや声出しを積極的にし、皆で意見を出し合って練習内容を考えているので、限られた時間でも充実した練習ができています。学習との両立もしやすく、近年は難関国公立大学をはじめとして多くの生徒が第一志望校合格を果たしています。

毎年八月九日頃から四泊五日で合宿を行っています。昨年の合宿では、教育実習にいらした長岡沙紀さんがキャプテンを務めてくださり、昨年の卒業生から三十代、四十代、五十代の卒業生まで、お忙しい中、延べ十七人の卒業が合宿にいらして、厳し

## 離任恩師ご挨拶

く丁寧なご指導をしてくださいました。休日の練習にも毎回のよう卒業生が来てくださるので、現役の生徒たちもご指導に励まようと一生懸命です。

卒業生の方々に活動を支えて頂いていることを心から感謝しております。今後も何卒よろしくお願い致します。



### 十七年間チームの一員として

木村 知博（数学・在職17年）



十七年間あつというま  
でした。忙しくとも充実  
し楽しい日々を送れまし  
たのも教職員、生徒、保  
護者、同窓会の方々のお  
かけです。

三回の担任（54・59・62回生）をし、最後の四年間は主任として進路室に常駐し進路相談も行いました。

この間、進学重視型単位制に移行し、一学年六クラスから八クラスになり、新校舎になりました。生徒数が増えたこともあり、部活動、学校行事もより活発になりました。生徒募集が思うようにいかず、学校進学実績も振わないときもあり、中学校訪問、模擬授業等もしました。新宿高校の『激動期』を過ごしたことになります。

「チーム新宿・進路は補欠なき団体戦」

進路部のスローガンです。臨海教室の「遠泳」を思い出して下さい（66回生は震災の影響で学校で45分間泳）。一人では到

底1.5km泳ぐのは不可能ですが、八十人の仲間がいて水泳部の卒業生、体育の先生方の指導・応援を受け自分達で全員が泳ぎ切ります。受験も同様です。一人では大変ですが、三二〇名の仲間と一緒に、教職員の指導・援助を受けながら、合格を勝ちとりま

す。「受験は授業の延長」であり、様々な学校生活を経験しての総仕上げです。

62回生の卒業式での答辞がこのことを明確に表しています。「受験は学校行事だった。文化祭、合唱祭等と同じで、仲間と一緒に計画を立て、思うようにいかないときもあったが、励まし合い、力を合わせてやりきった。」

近年、東大をはじめ難関大も塾へ行かず合格する生徒が急増しています。また、補習・講習は多く面倒見のよい高校と言われるのですが、相変わらず自学自習が基本です。自学自習ができずに第一志望校合格は厳しいです。

文化祭の思い出

旧校舎には舞台がなかったため、一日は世田谷区民会館を借りて、演奏、演劇等を行いました。中夜祭で御苑から校舎まで提灯をぶら下げ、盆踊りをしたこともありま

した。

新校舎では舞台が設置され、視聴覚室も充実し、一、二年生は原則「劇」等となりました。現在はクラスの劇としては相当ハイレベルなものになっています。担任したクラスは、一、二年次はすべて劇・ミュージカルをしました。どれも印象に残るものばかりです。

最後に  
同窓会の方々には講演等で特に豊沢様、秋山様、西出様にはお世話になりました。また前村上会長様には東京外国語大学とのパイプを作って頂き、亀山(当時)学長、立石学長に講演をして頂きました。亀山先生は学長としての公での最終講演となりました。

我々教職員、生徒、保護者、同窓会が力をあわせて一歩ずつ確実に新宿高校は進化しています。

皆様から特に生徒から多くのことを学びそれを次に生かしてやってきました。「チーム新宿」の一員として17年間の責務を何とか果たせたかと思えます。ありがとうございました。



## 教員版「新宿高校同窓会」

新宿高校の卒業生の皆さんに同窓会があるように、新宿高校の教壇に立った教員にも一つの同窓の会があります。

東京都の西に位置する多摩地域で毎年開かれていたローカルな同窓会、名称は『新宿多摩の会』といいます。

この会の開催のきっかけは、一九九九年三月にさかのぼります。この時に元新宿高校の教員だった仲間の退職を祝う会を有志が集まって開きました。

その退職地が多摩だったため、多摩地域に勤務していたり、居住していたりする元新宿高校の教員が集まる会を年に一度でもいいから開きたいとの声が上がリ、この会を開いた場所に、一年後に再び集まる約束をしました。

その頃から強制的な人事異動が吹き荒れ、散り散りにされた元新宿高校の教員が集まり、旧交を温め合う機会にもなりました。国分寺駅に近く、豆腐料理のおいしい料亭「梅の花」は、特別な計らいで一年前からの予約を引き受け、料理も特別扱いしてくれました。

毎年開かれたこの会は、その年々に退職する仲間を、お祝いする会でもありました。



この会への参加を積極的と呼びかけることはしませんでした。人が集ってに聞いた元新宿高校の教員が、遠方からも駆けつけてくるようになりました。

教員人生の最も活力に満ちた一期に、新宿高校のおおらかな学び舎で、よき生徒、よき先輩・同僚・後輩に囲まれ勤めることができた喜びは、我々がどこに異動しようとも、その後の人生の宝物となったに違いありません。だからこそ、新宿多摩の会は、十六年間も続いたのだと思います。あまたの都立高校がある中で、十六年間に渡って開き続けている教員の同窓会は、寡聞にして知りません。

しかしながら、十六年の歳月はまた、否応なく幹事を老境に追いやることになりました。今年三月の会を最後に現幹事は退き、会の名称も場所も一新して新幹事に新たな出発をお任せする予定です。さらなる発展を期待したいと思います。

(幹事一同)

## 朝陽同窓会事務局便り

平成二五年度朝陽同窓会総会での記念講演の概要をご紹介します。

### 記念講演 徳川將軍親族遺骨の研究

— 大奥の実態を探る —

十五回 馬場 悠男

上野寛永寺徳川家御裏方靈廟の改葬に伴い、將軍の正室・側室・生母・息女の遺骨十五体を研究する機会があった。

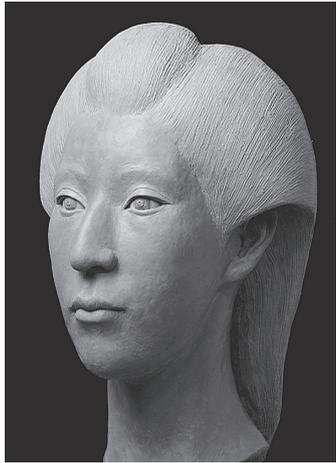
貴族出身の正室は、江戸庶民と比べると、顔が細長く、鼻が狭く高い。側室は平均としては正室と庶民の間だが、時期によって異なる。江戸時代前中期では顔が広く頑丈なことが多いが、江戸時代後期では顔が細長く華奢になる。

たとえば第八代將軍吉宗の生母「浄円院」は、紀伊徳川光貞の側室だったが、庶民的整形という感じで、身体も顔も頑丈である。高齢にもかかわらず歯が良く残っており、健康だったことが分かる。いかにも吉宗を質実剛健に育てたと言われる所以である。

第九代將軍家重の正室「證明院」は、顔が細長く、鼻は極めて狭く高い。正室の威厳を見事に体現する顔立ちと言えよう。復元像を作ってみると（下図）、浮世絵の美

人にそっくりである。いや、逆に浮世絵が、正室の顔をモデルにして紋切り型の瓜実顔美人を描いているのだ。

第十二代將軍家慶の側室で第十三代將軍家定の生母「本寿院」は、正室と同様に、顔が細長く華奢で、鼻筋が通った整形である。つまり、江戸後期になると、側室候補として大奥に送り込まれる女性たちは、正室と同様の華奢な美人が好んで選ばれたのだ。



増上寺の徳川靈園改葬の際に將軍の遺骨を研究した東京大学の鈴木尚は、將軍の顔が細長く華奢になった原因は、大奥での極めて軟らかい食物を食べる食生活と貴族出身の正室の遺伝的影響であると考えた。しかし、將軍の生母は大部分が側室である。そこで、今回の研究結果と合わせて再検討すると、將軍の顔が華奢になった原因としては、特殊な食生活の影響とともに、正室に似た顔つきの側室の遺伝的影響が大きいと見なすことができる。

また、鈴木は、將軍や正室の顔は未来の先取りをしていると考えたが、それは今回の結果も同様である。つまり、現代の若者に急増する顔の華奢化や歯並びの悪さを、二百年前に体験していたことになる。

生活の実態を示すものとしては、親族（特に正室）では鉛中毒がひどく、それぞれ正室が短命で子どもが夭折した原因と思われる。意外にも寄生虫卵がほとんど検出されないのが、衛生的な食生活をしてきたか、あるいは虫下しを飲んでいたら可能性がある。何人かの生母のミトコンドリアDNAが分析され、その子どもである將軍のDNAタイプも判明した。

そのほかにも、歴史では知られていない奇妙な事実がいくつも発見された。

# 今年の館山寮を振り返って

一三四回 下島 正幹

まず初めに、九十余年の歴史を誇る館山臨海教室を始めとした、寮でのすべての行事が、今年も事故なく無事完了できたことをご報告いたします。

そして、寮のために御助力頂いた大勢の方々に厚く御礼申し上げます。

特に限られた設備で、延べ五四〇〇食もの食事を提供してくれた厨房の小島宏之さん、試験勉強で忙しい中、駆けつけてくれた水泳部OB/OG諸君、体育教官の先生方、地元の皆様、朝陽会事務所の皆様、そして、私の頼りないおもてなしにご協力して下さいました宿泊客の皆様に、お礼を申し上げます。ありがたい気持ちで胸がいっぱいです。どうもありがとうございました！

正直言って臨海教室、水泳部合宿、水泳部懇親会以外は、暇を持て余して困るのではないかと、舐めてかかっていた。ところが、開寮前から閉寮後まで、一連の宿泊手続きだけではなく、女子寮天井裏に巣を作ったスズメバチ退治、壊れたたスノコの修理、不具合の出た備品（電球、蛍光灯、扇風機、電子蚊取等）の修理と買い替え、ゴミの処理、ごみ集積場の掃除。その他、毎日ある雑用処理で、のんびりと休む



暇は、そうはありませんでした。

でも、お陰様で、私にとつて今年も一生の思い出となる楽しい出来事が、数えきれないくらいありました。

ご承知の通り、寮は温水シャワー、

ジュース類の自販機、共用の冷蔵庫、給水湯器は完備しています。しかし、ホテルの様に各部屋に、エアコン、冷蔵庫、バストイレはありません。

そんな施設ではありますが、皆さんも夏の楽しい思い出づくりに、昔懐かしい館山寮に泊まりにいらっしやいませんか？ 来年も真黒な私がお待ちしております。

(朝陽水泳会館山寮統括管理人)

## 平成26年度同窓会総会・懇親会ご案内

- と き 平成26年 5月31日(土)  
午後2時～6時
- ところ 新宿高校3階 視聴覚室  
新宿区内藤町11-4
- 議 事  
\* 役員改選  
\* 平成25年度活動報告と決算  
\* 平成26年度活動計画と予算  
\* その他  
会計関係資料は60～61ページ参照
- 記念講演 「翻訳語と日本文化」  
長谷川(野上)三千子氏  
(16回 埼玉大学名誉教授 哲学者)
- 懇親会 同日午後4時～6時  
クルーズ・クルーズ新宿店  
(参加無料、定例のライオンではありません)



總會場所連絡先：03-5368-8366  
(朝陽層總會事務局直通)

懇親会場連絡先：03-5485-3900

## 新宿高校創立100周年記念事業について

朝陽同窓会 幹事長 吉村 悟 (7回)

我が母校である東京都立新宿高等学校は、平成34年(西暦2022年)に創立100周年と言う節目の年を迎えます。この記念すべき年に向かって何かお祝いの心を行事として具現化し、100周年を盛り上げたいと思います。

昨年の7月に朝陽同窓会の役員と代表幹事41名が一堂に会し、どのようなイベントを行えば100周年を祝うに相応しい行事になるか、侃々諤々の議論を致しました。その結果、曰く興国の鐘を復元させよう、曰く朝陽会館を再建しよう、曰く女性を中心とした朝陽合唱団を立ち上げよう、曰く100周年記念音楽会を開催しよう、などなど合計48件の提案がなされました。

朝陽同窓会としてはこの数々の有意義な提案を実現すべく、直ちに100周年記念事業実行委員会を立ち上げました。そして提案に対する企画書を作成し、夢の実現に向けて一步を踏み出しました。口に出すのは簡単ですが、これらの提案の実現には数々の困難が立ちはだかることが予想されます。しかし朝陽同窓会会員の皆様の英知と熱意があれば、母校の創立100周年を飾る立派な

記念事業が達成出来ると信じております。

この事業は代表幹事だけのものではありません。一般の会員の皆様からも広くご提案を頂き、朝陽同窓会全員で100周年を祝いたいと思っております。もし皆様が100周年を飾るにふさわしいご提案をお持ちなら、趣旨・目的・内容などを具体的にお書き頂き、朝陽同窓会事務局までお寄せください。事務局はその提案を実行すべく、提案者と相談して企画書を作成いたします。100周年記念事業実行委員会の承認を受けた後、事務局と提案者がプロジェクトチームを編成し、達成に向かって推進してゆくと言う段取りを考えております。

提案書の書き方や100周年記念事業の進捗状況などについては、ホームページに掲載して皆様にお知らせします。ホームページをご覧になり、参加したいプロジェクトがあれば事務局までお知らせください。チームの一員になって頂き、一緒に100周年事業を成功させましょう。そして8年後の100周年記念を盛大にお祝い致したいと存じますので、大勢の皆様のご参加をお願い申し上げます。

### 朝陽同窓会 平成25年度決算(案)と平成26年度予算(案)

平成25年度決算(案)は以下の通りです。以下の財産目録、次頁の予算実績比較表、剰余金処理と合わせて、平成25年度の決算案としてご覧ください。

#### 平成25年度決算(案)

##### 財産目録

平成25年度決算(案)			平成26年3月31日現在	
科目	金額	摘要	科目	金額
<資産の部>			<負債の部>	
固定資産	231,889	コンピュータシステムなど	源泉徴収所得税預かり	17,420
定期預金	39,000,000	中央三井信託、三菱東京UFJ 三井住友、ゆうちょ銀行	長期会費未経過分引当金	14,994,000
郵便貯金	1,903,371	東京貯蓄センターなど	計	15,011,420
普通預金	2,956,182	中央三井信託、三菱東京UFJ 三井住友、ゆうちょ銀行	<繰越金>	
現金	91,725		繰越金	29,171,747
計	44,183,167		計	44,183,167

平成25年度決算(案)  
平成25年4月1日より平成26年3月31日まで

△印は予算に対して実績が少なかったことを示す

勘定科目	予算	実績	差異	差異理由(予算⇒実績)
<b>&lt;収益の部&gt;</b>				
入会金	3,975,000	2,850,000	△ 1,125,000	66回生228名⇒156名
年会費	1,800,000	1,791,000	△ 9,000	
長期会費	5,830,000	5,314,908	△ 515,092	前年実績の5%増⇒横ばい
寄付金	650,000	506,000	△ 144,000	90周年記念事業終了
名簿売上	280,000	283,500	3,500	
朝陽広告料収入	324,000	349,000	25,000	
預金受取利息	78,000	36,395	△ 41,605	
朝陽クラブ収入	270,000	153,000	△ 117,000	30名/回⇒17名/回
経常収益合計	13,207,000	11,283,803	△ 1,923,197	
<b>&lt;費用の部&gt;</b>				
事務局手当	4,596,000	4,252,120	△ 343,880	松田さん退職、補充せず
通勤交通費	359,000	286,530	△ 72,470	
会議費	616,000	393,815	△ 222,185	代表幹事会懇談会費用節減
通信費	330,000	298,729	△ 31,271	
光熱費	200,000	203,852	3,852	
備品費	289,000	291,310	2,310	
消耗品費	510,000	598,209	88,209	
記念品・慶弔費	116,000	95,000	△ 21,000	
銀行郵貯手数料	191,000	175,502	△ 15,498	
修繕費	156,000	156,420	420	
減価償却費	215,000	214,032	△ 968	
出張旅費	208,000	135,340	△ 72,660	
寄付金	150,000	100,000	△ 50,000	
名簿印刷発送費	150,000	10,000	△ 140,000	66回生名簿支払ずれこみ
朝陽発行費	3,022,000	3,046,883	24,883	
総会費	573,000	543,000	△ 30,000	
支部助成金	230,000	190,000	△ 40,000	
校歌祭費用	120,000	90,000	△ 30,000	
朝陽クラブ運営費用	380,000	197,000	△ 183,000	30名/回⇒17名/回
朝陽祭参加費用	50,000	24,486	△ 25,514	
戸山戦開催費用	50,000	26,500	△ 23,500	
予備費	600,000	0	△ 600,000	
経常費用合計	13,111,000	11,328,728	△ 1,782,272	
当期経常増減額	96,000	△ 44,925	△ 140,925	

\* 収支概況

- + 90周年記念祝賀会が前年度に終わり、同窓会は平常の年の活動となった。
- + その結果収支共に予算をやや下回った。

\* 収益

- + やはり入会金の減少が気になる。抜本的な対策が必要である。
- + 長期会費についても、さらに集める努力が必要である。
- + 折角の楽しい会であるので、もっと朝陽クラブの参加者を増やしたい。

\* 費用

- + 例えば事務局手当に見るように、節減努力の効果が現れている。
- + 予算を超過した費目はあるが、その合計金額は予備費の範囲に収まった。

剰余金処分案

1. 前年度繰越金	29,216,672
当期経常増減額による取り崩し	△ 44,925
計	29,171,747
2. これを次の通り処分します	
次期繰越金	29,171,747

会計監査報告

平成25年度朝陽同窓会の会計監査を行いましたところ、会計帳簿、および証憑書類との照合結果については、いずれも一致していることを確認いたしました。

平成26年 4月9日

監事 山本展也・島崎主税

平成26年度予算(案)  
平成26年4月1日より平成27年3月31日まで

△印は前年実績に対して予算が少なくなったことを示す

勘定科目	予算	前年実績	差異	差異理由(予算⇒実績)
<b>&lt;収益の部&gt;</b>				
入会金	4,035,000	2,850,000	1,185,000	67回生は前年比10%増
年会費	1,970,000	1,791,000	179,000	前年実績の10%増
長期会費	5,581,000	5,314,908	266,092	前年実績の5%増
寄付金	557,000	506,000	51,000	
名簿売上	0	283,500	△ 283,500	販売終了
朝陽広告料収入	596,000	349,000	247,000	名刺広告開始
預金受取利息	37,000	36,395	605	
朝陽クラブ収入	270,000	153,000	117,000	17名/回⇒30名/回
経常収益合計	13,046,000	11,283,803	1,762,197	
<b>&lt;費用の部&gt;</b>				
事務局手当	4,428,000	4,252,120	175,880	100周年記念事業担当設置
通勤交通費	357,000	286,530	70,470	
会議費	681,000	393,815	287,185	代表幹事会46名/回⇒70名/回
通信費	321,000	298,729	22,271	
光熱費	204,000	203,852	148	
備品費	40,000	291,310	△ 251,310	今年は大型備品の購入予定なし
消耗品費	564,000	598,209	△ 34,209	
記念品・慶弔費	116,000	95,000	21,000	
銀行郵貯手数料	195,000	175,502	19,498	
修繕費	0	156,420	△ 156,420	今年は刀剣研ぎ代なし
減価償却費	215,000	214,032	968	
出張旅費	218,000	135,340	82,660	
寄付金	100,000	100,000	0	
名簿印刷発送費	75,000	10,000	65,000	
朝陽発行費	3,032,000	3,046,883	△ 14,883	
総会費	573,000	543,000	30,000	
支部助成金	290,000	190,000	100,000	4支部朝陽会へ助成
校歌祭費用	120,000	90,000	30,000	
朝陽クラブ運営費	380,000	197,000	183,000	17名/回⇒30名/回
朝陽祭参加費	50,000	24,486	25,514	
戸山戦開催費	50,000	26,500	23,500	
100周年記念事業	200,000	0	200,000	プロジェクト開始により費用増加
予備費	600,000	0	600,000	
経常費用合計	12,809,000	11,328,728	1,480,272	
当期経常増減額	237,000	△ 44,925	281,925	

\* 収支概況

- + 100周年記念事業開始により、事務局手当などの関連経費増加を見込んだ。
- + その他は平年並みと予想した。

\* 収益

- + 入会金・年会費・長期会費の増収を計画しているが、相当な努力を要する。
- + 名刺広告を新たに開始したので、朝陽広告料は増収が見込まれる。
- + 朝陽クラブの参加者を17名/回から30名/回に増やす。

\* 費用

- + 100周年記念事業担当者を1名任用する。
- + 代表幹事会出席者を46名/回から70名/回に増加させる。

## 館山寮と水上寮の現在と今後

(財)朝陽会

1. 「一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会」(以下「朝陽会」とは

(1) 朝陽会と朝陽同窓会

朝陽会とは法人格を持つ「一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会」の略称で、任意団体の朝陽同窓会とは別の組織です。朝陽同窓会も「朝陽会」と略称されることが多いうえ、事務局員も多くが兼任ため混同されがちですが、正確には朝陽会と朝陽同窓会とは別組織です。

(2) 朝陽会の目的、事業

朝陽会は初代阿部宗孝校長の寄付を元に、新宿高校の教育の援助と校風の振興を目的として大正一二年に設立されました。現在の主たる活動は①教育活動の支援②校外施設、特に館山寮の運営管理及び水上寮土地建物の保管で、新宿高校がトップレベルの教育を行えるような支援や、毎年一年生全員を対象に行う三泊四日の臨海教室が安全に実施できるため、館山寮の維持管理と給食・清掃等運営を行っています。

(3) 朝陽会の組織、運営

朝陽会の業務は、学校教職員、PTA、同窓会から選ばれた理事、評議員、監事



構成される評議員会、理事会での決定に基づいて執行されます。本年一月現在の代表理事は村上光一さん(十回)、業務執行理事は戸田弘美校長と小泉公生さん(十回)です。

2. 平成二五年度の館山寮

東日本大震災を乗り越えて平成二四年に復活した臨海学校は、遠泳も再び加わった平成二五年も先生方や応援の水泳部OBによる万全の体制で事故なく終えることができました。また、卒業生やご家族が利用できる一般開寮期間についても、例年を上回

る状況を呈しました。合計四十日余りの夏季開寮期間を事故なく、円滑に終えることに尽力いただいた関係者の方々には深くお礼申し上げます。(詳細は別掲・下島正幹さんの報告をご覧ください)

3. 水上寮の現状と今後

水上寮は昭和四年四月に地元有力者から土地の寄進を受け、同年六月には寮舎を建設、七月に開館されました。記録にある昭和二六年以降毎年の林間学校には当初、三期一二〇名の方々が参加されました。昭和四十年以降は様々な事情により希望者が激減、参加者不足で中止の年もあるなどしたことで、平成一七年の林間学校を最後に利用が中止されました。築八五年、無人となつて十年近くなる寮舎は、最低限のメンテナンスはしているものの厳しい自然環境もあって荒廃が進み、地元からは不審者による出火や降雪、台風等による災害の恐れから早期の対策を求められています。

朝陽会では、それらの情勢に鑑み、本年三月の理事会・評議員会で本年中の寮舎解体を決め、時期・方法等の具体的検討に入っています。また、今後の敷地利用の方向性についても、地元の意向も確かめつつ、百周年に向けたプロジェクトの一つとして採り上げていくことも考えています。

(財)朝陽会総務部長 西出 紀久

## 朝陽同窓会会員諸氏の著書紹介

この1年間に下表のように多くの会員から著作の寄贈をいただきました。

著者	回数	書名	出版社	価格
金田一春彦	中 5	日本語の特質	日本放送出版協会	¥757
		ケヤキ横丁の住人	東京書籍	¥1,200
上田耕一郎	中 18	国会議員	平凡社	¥680
加賀 乙彦	中 21	宣告 上巻・下巻	新潮社	¥1,500
		夕映えの人	小学館	¥1,900
		死刑囚の記録	中央公論社	¥680
		科学と宗教と死	集英社	¥700
		不幸な国の幸福論	集英社	¥720
		悪魔のささやき	集英社	¥680
栗田 勇	中 21	花のある暮らし	岩波書店	¥740
加藤 秀俊	1	世間にまなぶ	中央公論社	¥1,900
		常識人の作法	講談社	¥1,600
		なんのための日本語	中央公論社	¥780
加藤 廣	2	求天記	新潮社	¥2,000
		神君 家康の密書	新潮社	¥1,600
岩田 誠	3	鼻の先から尻尾まで	中山書店	¥2,800
Noriko Behling	12	Fuel Cells		
小林 寛道	14	運動神経の科学	講談社	¥700
渡辺 伸一郎	14	会津より	深夜叢書	¥2,400
長谷川三千子	16	長谷川三千子の思想相談室	幻冬舎	¥1,500
		民主主義とは何なのか	文芸春秋	¥700
斎藤 雅久	17	教養の場としての英文解釈	游学社	¥1,800
田口久美子	18	書店繁盛記	ほぶら社	¥1,600
椎名 政夫	19	建築家の自律	企業建築ジャーナル	¥1,800
加藤 直規	20	発明への誘い	大学教育出版	¥1,600
内山 節	20	日本人はなぜキツネに だまされなくなったのか	講談社	¥720
本村 眞澄	21	日本はロシアのエネルギーをどう使うか	東洋書店	¥800
野地 秩嘉	26	TOKYO オリンピック物語	小学館	¥1,800
		キャンティ物語	幻冬舎	¥1,553
		日本一の秘書	新潮社	¥700
		一流たちの修業時代	光文社	¥760
市石 博	27	日常の生物事典 (共著)	東京堂出版	¥2,800
		生物を科学する事典	東京堂出版	¥2,600
		絵でわかる生物の不思議	講談社	¥2,000
中條 克俊	27	中学生たちの風船爆弾	さきたま出版会	¥1,650
		君たちに伝えたい 朝霞、 そこは基地の町だった	梨の木舎	¥1,800
		君たちに伝えたい 朝霞、 キャンプ・ドレイク物語	梨の木舎	¥1,800
大原 悦子 (文)	29	カタッポ	福音館書店	¥390
絲山 秋子	37	妻の超然	新潮社	¥1,400
		末裔	講談社	¥1,600
阿部 浩一	38	ふくしま再生と歴史・文化遺産	山川出版社	¥1,800
青山 雅英	41	ナガサキの原爆を撮った男 評伝山端庸介	論創社	¥2,000

前号朝陽六二号で卒業三十周年記念記事紙面から森谷さんご寄稿の後半部分が欠落しておりました。ここに不手際をお詫びいたしますと共に全文を再掲載致します。

### 「パツとしない高校生」のつぶやき

F組 森谷（松下） 真由美

先日、高校の同期の集まりに初めて参加しました。二年で同級だった地引達弘さんが朝陽祭でのクラスの演劇「シラノ・ド・ベルジュラック」について話していました。

私は、小道具係とセリフが一つある役を担当しました。当日、裏で忙しく作業をし、舞台上でセリフを発した後で「もう少しセリフがある役が良かったかな」と思い始め、一人勝手にブルーな気分になっていました。主役級を希望したわけではなく、裏方の仕事も充実感があり、他の事に手を出す余裕もないはずなのに。終演へ舞台成功へと向かっているこの時に、何とこうこうでしょう。

この例を出すまでもなく、当時の私は「パツとしない高校生」でした。怪我のため、と言えは聞こえは良いですが、実際は運動神経も良くないし、自分の時間が取れず気持ちもすっきり萎えてしまったため、怪我をしたのをきっかけに運動系のクラブ

をドロップアウトしました。その後、文化系のクラブに拾っていただき、楽しく活動していましたが、ここでも技術的なことはほとんど身につきませんでした。そして、最後の最後に大学受験に失敗し、何とも言えない喪失感だけを残り、私は新宿高校を後にしました。

こんな私が「夢は叶う！」などと言ったところで、全く説得力が無いと思います。実際努力は大切ですが、報われるかどうかは、その時の状況にもよります。そして、どんな人にも多かれ少なかれ、「パツとしない」時期は来るものですが、

- ① 現時点で、できることを続ける。
- ② 差し伸べられた手は、掴む。
- ③ 流れが来たら、乗ってみる。

と、このようなことを心がけていれば、後々自分にとっての心地よいポジジョンを確保できると、私は信じております。

最後に、当時の女子バスケット部、音楽部の皆様、その節はご迷惑をおかけしました。そして大変お世話になりました。現在の私は、二人の息子に振り回されつつ、細々と百貨店勤務を続けています。「デバガ」を始めて二十五年になります。皆様から学ばせていただいたことを糧として、バタバタと慌ただしい日々ですが、笑って過ごしていこうと思います。

### 編集後記

本年度から林慶治郎（18）が西出紀久前編集長から朝陽の編集を引継ぎました。貴重なお時間を割いて執筆寄稿下さいました先輩諸氏に文字数の削減など無粋かつ失礼なお願ひも多々あったかと存じます。伏して御容赦をお願いするとともに、改めてお詫び申し上げます。

より読みやすい紙面構成、より多くの会員の方々の記事の掲載などに尽力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

### 東京都立新宿高等学校朝陽同窓会 会報 朝陽 63号

発効日：平成26年5月1日  
発行人：朝陽同窓会長 青柳正規  
東京都新宿区内藤町11番4  
都立新宿高校内 朝陽同窓会  
表紙デザイン：草川 衛（18回）

非売品

本文（写真、文章）の無断転用転載はお断りいたします

ソーシャルプレミアムという考え方

# ゼンショーフェアトレードの仕組み

発展途上国の農産物は、世界の流通システムの中でその多くが不当に安く買い叩かれています。それを消費する側が公正に、かつ継続的に取引しようというのがフェアトレードの考え方です。

原材料の調達から加工、物流、店舗での販売までを一貫して企画・設計・運営するゼンショーのMMD(マスマーチンダイジングシステム)の仕組みのもと、フェアトレードで買入れた生産品を世界で販売することは、途上国の生産者に適切な収入をもたらすとともに、生活の向上と経済的自立につながります。

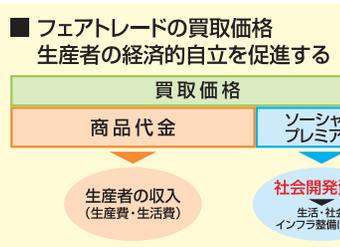
## ソーシャルプレミアム

ゼンショーの買い取り価格には商品代金に加え「ソーシャルプレミアム」という社会開発資金が含まれています。このソーシャルプレミアムは生産者組合に積み立てられ、ゼンショーと生産者の話し合いでその使い途を決定します。

## 子供たちの未来のために

ゼンショーがフェアトレードを展開している16ヶ国では、ソーシャルプレミアムを生産者の生活改善のために利用しています。中でも地域の将来を担う子供たちのためのプロジェクトを推進しています。

テーマは「子供の健康と教育」「安全な水と食」。



ケニアでは生産者の保育所の修繕と乳牛の人工授精の推進、ルワンダでは学校の教室と水道施設の整備、ウガンダでは、母子健康と出産に関わる医療施設の充実を進めています。

また、ケニアで人工授精した乳牛から採れた牛乳は、ゼンショーからの支援物資として同国のソマリア難民キャンプで3歳から5歳の子供たち約2万6千人に今も継続的に供給されています。

こうした活動は生産者の生活を向上させるとともに、より品質の高い商品作りにもつながります。

ゼンショーは今日も生産者とともに考え、ともに汗を流しながら、発展途上国の生活向上に努めています。



ルワンダでは水道施設を建設。子供たちが遠路の水汲みのため学校に遅れることもなくなった。

ゼンショーグループの各店で、さまざまなフェアトレード商品をお楽しみください。



「すき家」では東ティモールのコーヒーをご提供しています。



「ココス」ではケニアの紅茶、ペルーのココアパウダーでつくったココアをドリンクバーで楽しめます。



「ビッグボーイ」ではキューバのコーヒーをドリンクバーで提供しています。



「ジョリーパスタ」ではフェアトレードのブレンドコーヒーをドリンクバーでご提供しています。



「モリバコーヒー」のコーヒーはすべてフェアトレードです。



「はま寿司」ではドリップバッグのコーヒー、ココアがお寿司と一緒に回っています。

株式会社 ゼンショーホールディングス

代表取締役社長 小川 賢太郎 (19回卒)

ZENSHO

## 平成26年度同窓会総会・懇親会ご案内

日時：5月31日(土) 午後2時～6時

場所：総会 新宿高校3階視聴覚室 2時～

(懇親会 クルーズ・クルーズ新宿店 4時～)

### ●総会議事

- 役員改選(本文2ページ参照)
- 25年度活動報告・決算
- 26年度活動計画・予算
- その他

### ●記念講演「翻訳語と日本文化」

長谷川(野上)三千子氏

(16回 埼玉大学名誉教授 哲学者)

### ●懇親会は4時から、参加無料です。ぜひご参加ください。

今年の会場はライオンではありませんのでご注意ください(案内図：本文58ページ参照)。



## 母校百周年記念事業のアイデア募集中

きたる母校百周年を盛り上げるためのさまざまなアイデアが出ています。皆さんもぜひご参加ください。詳しくは本文59ページ「新宿高校創立100周年記念事業について」をご覧ください。

## 朝陽会からのお知らせ

### 今年の夏は館山寮(旧塩見寮)で過ごしませんか

あの懐かしい青く澄んだ海、遠浅の浜辺がみなさまをお待ちしています。

●所在地 千葉県館山市香156

●期間、料金、申し込み方法などの詳細は、朝陽同窓会ホームページ(母校、館山寮、開寮利用状況)から。クラス会・部OB会・親しい友人たちとの会合などにもご利用ください。



## 「水上寮お別れ会」について

本年中に解体されることになった水上寮(本文62ページ参照)との「お別れ会」を7月26日(土)12時～14時に現地で行います。詳しくは朝陽同窓会ホームページをご覧ください。

## 会費納入のお願い

朝陽同窓会のさまざまな事業は、すべて皆様からの会費によってまかなわれています。一層のご支援ご協力をお願いいたします。(詳しくは14ページをご覧ください)

●年会費：2,000円、長期会費10,000円(6年間有効)のいずれか。

●会費免除の方々：①62～66回生(卒業時入会者は5年間免除) ②寿会員(80歳以上)

③名誉会員(現・旧教職員)

朝陽同窓会ホームページをご活用ください

<http://www.nchouyou.net>